
門真市
在宅介護実態調査
報告書

令和5年3月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
(1) 性年齢別、要介護度別	2
(2) 回答の記入者	3
(3) 世帯類型	3
(4) 現在抱えている傷病	4
3. 親族による介護	5
(1) 介護の頻度	5
(2) 主な介護者の属性	6
① 主な介護者	6
② 介護者の性別	6
③ 介護者の年齢	7
(3) 介護の内容	8
① 現在行っている介護	8
② 不安に感じる介護	9
(4) 介護離職	10
① 介護離職者の有無	10
② 主な介護者の勤務形態	11
③ 働き方の調整	12
④ 勤め先からの必要な支援	13
⑤ 今後の介護と仕事の両立	14
4. 支援・サービス	15
(1) 介護保険サービス（利用状況、満足度、利用していない理由）	15
(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス	16
(3) 在宅生活に必要な支援・サービス	17
(4) 施設等への入所・入居の検討状況	18
(5) 訪問診療の利用状況	18

5. 地域について	19
(1) 在宅生活を安心して継続することができるか	19
6. 新型コロナウイルス感染症について	21
(1) 新型コロナウイルス感染症における行動の変化	21
7. 人生の最終段階について	22
(1) 人生の最終段階について	22
8. 在宅生活継続に向けた6つの検討項目における集計結果	24
◆検討テーマと集計・分析の狙い	24
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	25
① 施設等への入所・入居の検討状況	25
② 介護者が不安に感じる介護	26
③ 総括	33
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	34
① 就労状況	34
② 就労継続見込み	39
③ 総括	41
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	42
① 保険外の支援・サービスの利用状況	42
② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス	45
③ 総括	48
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	49
① 世帯類型と要介護度	49
② 世帯類型ごとのサービス利用の組み合わせ	50
③ 世帯類型ごとの施設等への入所・入居の検討状況	52
④ 総括	54
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	55
① 主な介護者が行っている介護（医療面での対応）	55
② 訪問診療の有無	57
(6) その他	59
① サービス未利用理由	59
② 主な介護者の年齢	60

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行います。

本調査では、介護保険サービスや高齢者保健福祉サービスの利用状況、これらに対する今後のニーズなどを把握するとともに、計画に反映させる基礎資料として活用することを目的としています。

(2) 調査の実施について

対象者	令和4年12月8日現在、門真市内にお住まいの要支援・要介護認定を受けている在宅の方
実施期間	令和5年2月1日（水）～令和5年2月24日（金）
実施方法	郵送配布、郵送回収

(3) 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
1,981 件	1,259 件	63.6%	1,243 件	62.7%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3つまで）と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。

2. 回答者の属性

(1) 性年齢別、要介護度別

		母数 (n)	要 支 援 1	要 支 援 2	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5
全体		1242	8.0	8.6	26.1	26.2	14.7	9.4	6.9
性別	男性	791	8.5	9.5	23.6	27.1	14.8	9.2	7.3
	女性	451	7.1	7.1	30.4	24.8	14.6	9.8	6.2
年齢	64歳以下	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	65～69歳	52	5.8	11.5	23.1	17.3	25.0	11.5	5.8
	70～74歳	138	11.6	6.5	26.8	21.7	15.9	11.6	5.8
	75～79歳	231	7.8	13.0	23.4	29.4	10.8	8.7	6.9
	80～84歳	334	9.6	9.0	26.9	27.8	13.5	8.4	4.8
	90歳以上	486	6.2	6.6	26.7	25.9	16.0	9.7	8.8
性・年齢	男性 64歳以下	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	前期高齢者	93	7.5	6.5	32.3	21.5	15.1	12.9	4.3
	後期高齢者	357	7.0	7.3	29.7	25.8	14.6	9.0	6.7
	女性 64歳以下	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	前期高齢者	97	12.4	9.3	19.6	19.6	21.6	10.3	7.2
	後期高齢者	694	7.9	9.5	24.2	28.1	13.8	9.1	7.3

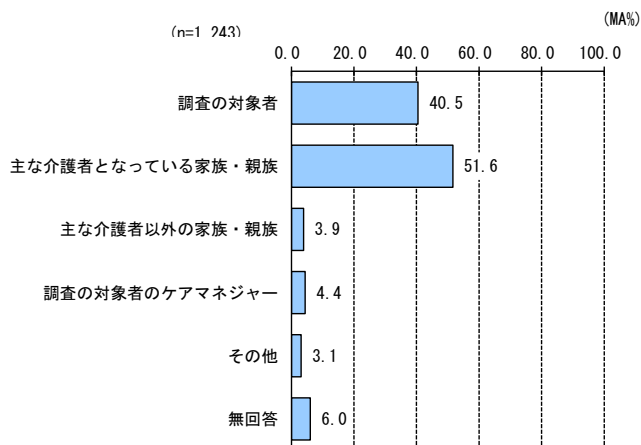
(2) 回答の記入者

- A票 問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(いくつでも○)

【全体】

- 問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。について、「主な介護者となっている家族・親族」が 51.6%で最も多く、次いで「調査対象者本人」が 40.5%、「調査の対象者のケアマネジャー」が 4.4%となっています。

【回答者(MA)】



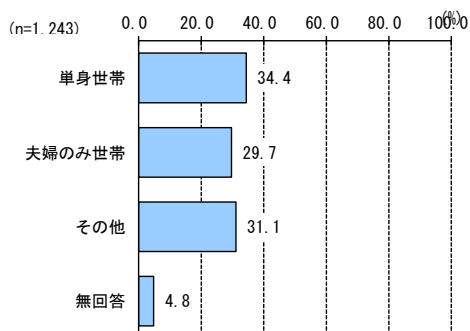
(3) 世帯類型

- A票 問2 調査の対象者の世帯類型について、ご回答ください。(1つだけ○)

【全体】

- A 問2 調査の対象者の世帯類型について、ご回答くださいについて、「単身世帯」が 34.4%で最も多く、次いで「その他」が 31.1%、「夫婦のみ世帯」が 29.7%となっています。

【世帯類型】



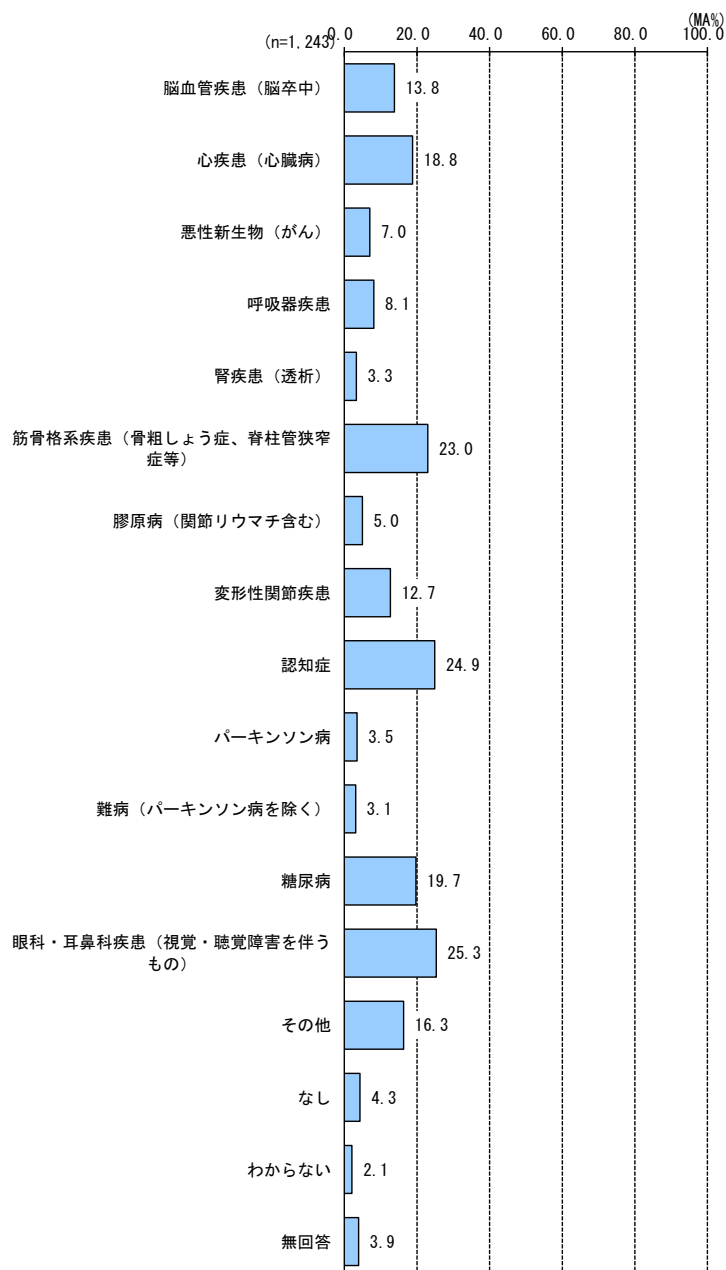
(4) 現在抱えている傷病

- A票 問12 調査の対象者が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(いくつでも○)

【全体】

- A 問 12 調査の対象者が、現在抱えている傷病について、ご回答くださいについて、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 25.3%で最も多く、次いで「認知症」が 24.9%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 23.0%となっています。

【現在抱えている傷病(MA)】



3. 親族による介護

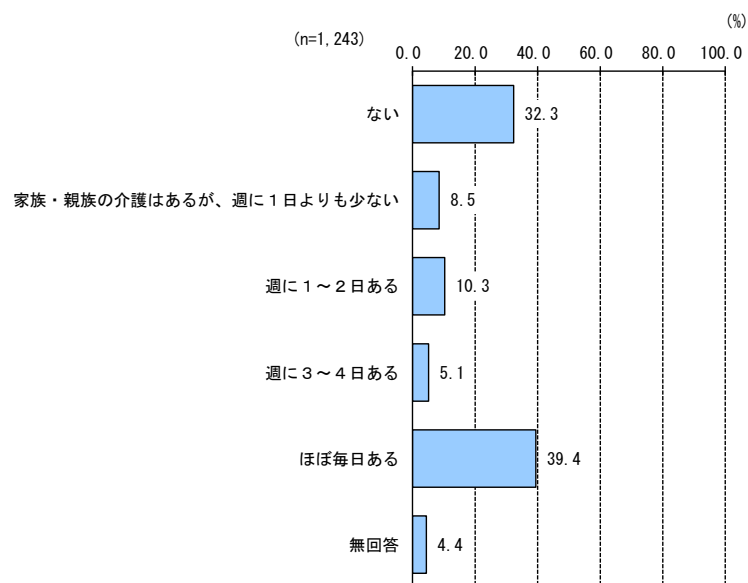
(1) 介護の頻度

- A票 問3 調査の対象者は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(1つだけ○)

【全体】

- A 問3 調査の対象者は、ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますかについて、「ほぼ毎日ある」が 39.4%で最も多く、次いで「ない」が 32.3%、「週に1～2日ある」が 10.3%となっています。
- 「週に1～2日ある」「週に3～4日ある」「ほぼ毎日ある」を合わせた“週に1日以上”、は 54.8%となっています。

【介護の頻度】



(2) 主な介護者の属性

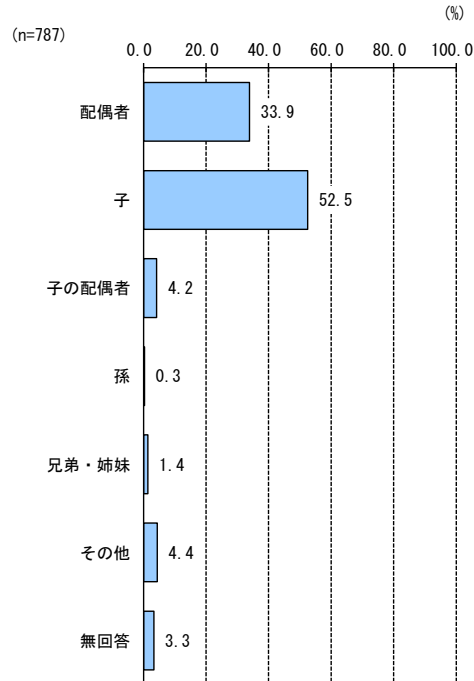
① 主な介護者

●A票 問4 調査の対象者を、主に介護している方は、どなたですか。(1つだけ○)

【全体】

○ A 問 4 調査の対象者を、主に介護している方は、どなたですかについて、「子」が 52.5%で最も多く、次いで「配偶者」が 33.9%、「その他」が 4.4%となっています。

【主な介護者】



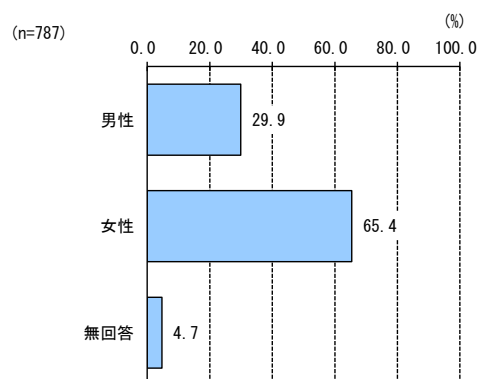
② 介護者の性別

●A票 問5 調査の対象者を、主に介護している方の性別について、ご回答ください。(1つだけ○)

【全体】

○ A 問 5 調査の対象者を、主に介護している方の性別について、ご回答くださいについて、「男性」が 29.9%、「女性」が 65.4%となっています。

【主な介護者の性別】



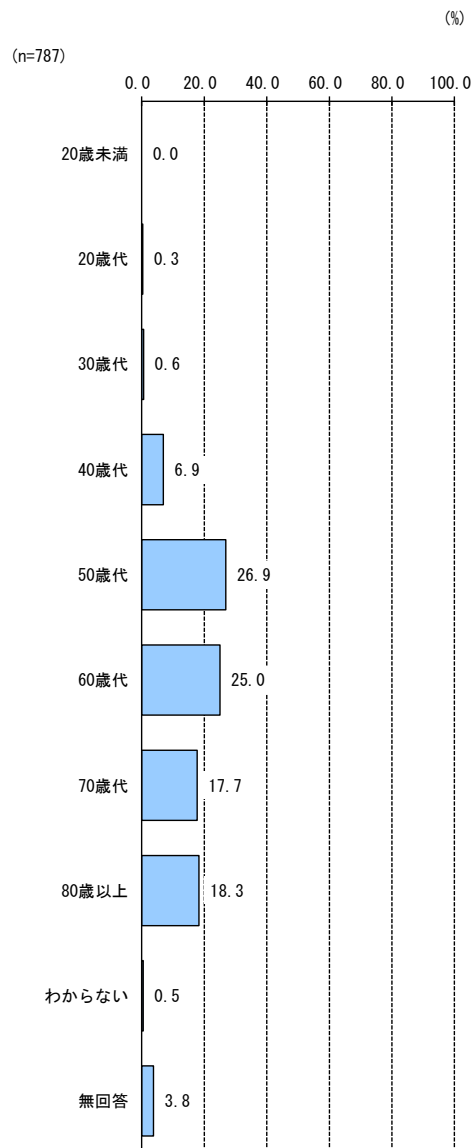
③ 介護者の年齢

- A票 問6 調査の対象者を、主に介護している方の年齢について、ご回答ください。1つだけ○)

【全体】

- A問6 調査の対象者を、主に介護している方の年齢について、ご回答くださいについて、「50歳代」が26.9%で最も多く、次いで「60歳代」が25.0%、「80歳以上」が18.3%となっています。
- 5割以上を「50歳代」と「60歳代」が占めています。

【主な介護者の年齢】



(3) 介護の内容

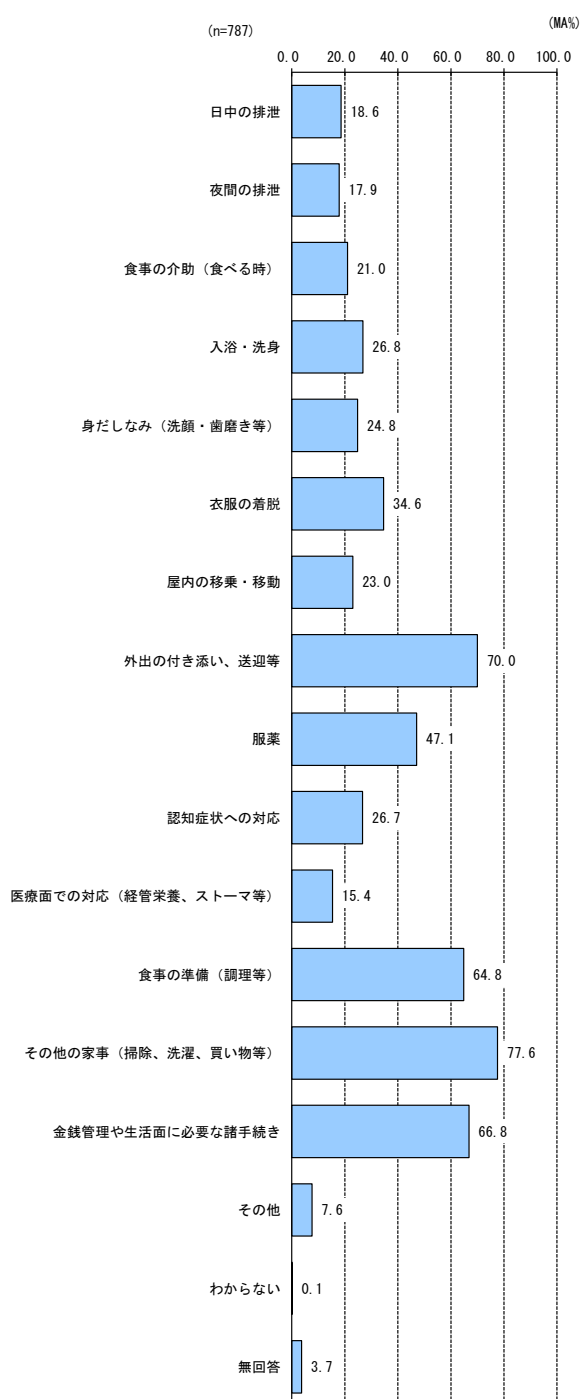
① 現在行っている介護

●A票 問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(いくつかでも○)

【全体】

○ A 問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答くださいについて、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 77.6%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が70.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が66.8%となっています。

【主な介護者が行う介護(MA)】



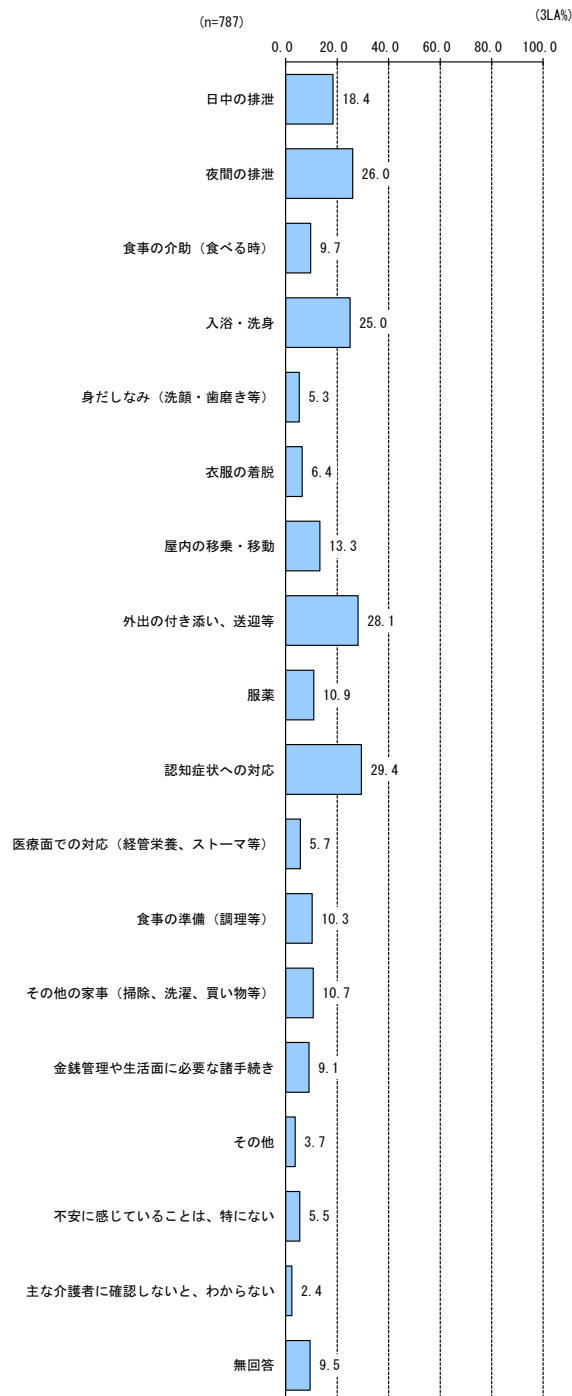
② 不安に感じる介護

- B票 問26 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（3つまで○）

【全体】

○ B 問 26 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答くださいについて、「認知症状への対応」が29.4%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が28.1%、「夜間の排泄」が26.0%となっています

【不安に感じる介護(3LA)】



(4) 介護離職

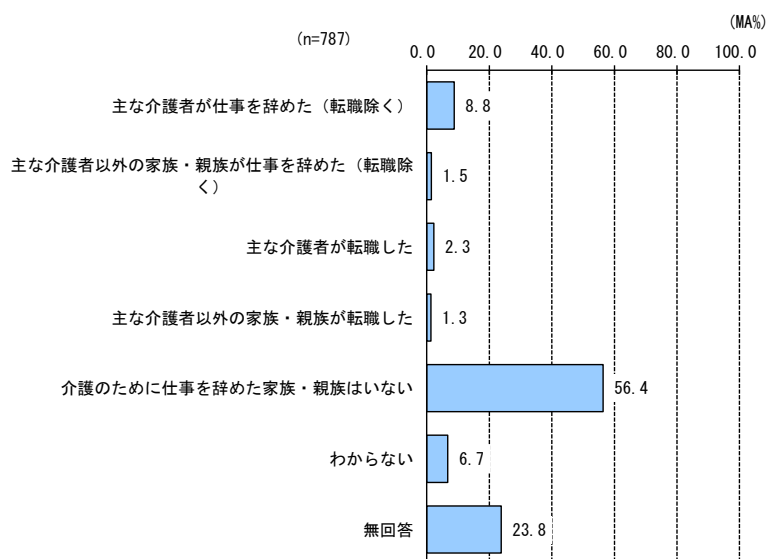
① 介護離職者の有無

- A票 問8 ご家族やご親族の中で、調査の対象者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(いくつでも○)

【全体】

- A 問 8 ご家族やご親族の中で、調査の対象者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますかについて、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が56.4%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が8.8%、「主な介護者が転職した」が2.3%となっています。

【介護離職(MA)】



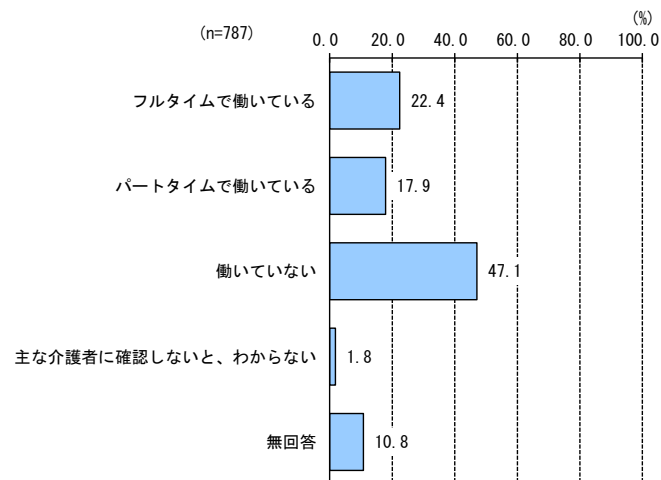
② 主な介護者の勤務形態

●B票 問22 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つだけ○)

【全体】

○ B 問 22 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答くださいについて、「働いていない」が 47.1%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が 22.4%、「パートタイムで働いている」が 17.9%となっています。

【主な介護者の勤務形態】



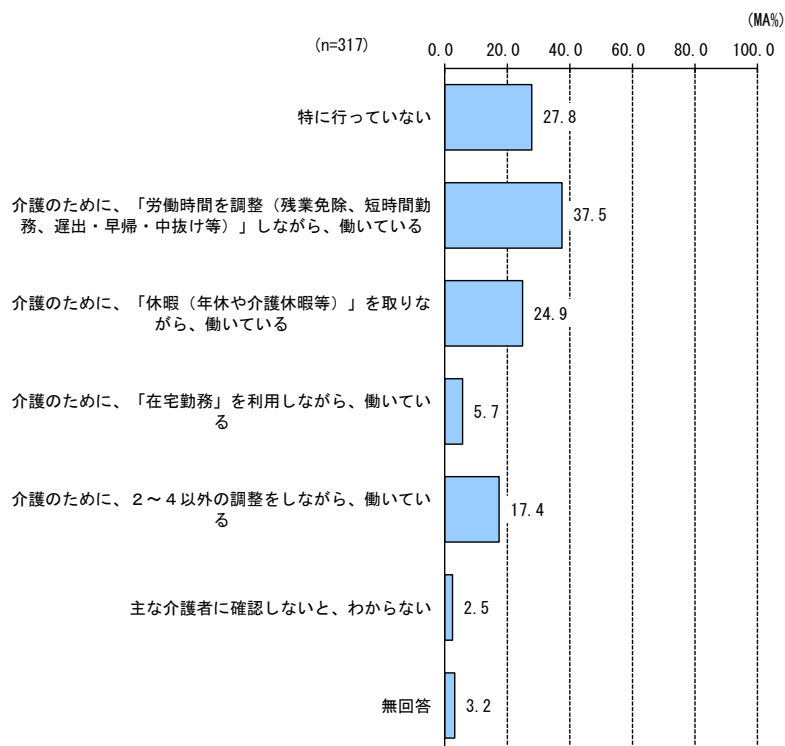
③ 働き方の調整

- B票 問23 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも○)

【全体】

- B 問 23 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますかについて、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 37.5%で最も多く、次いで「特に行っていない」が 27.8%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 24.9%となっています。

【働き方の調整(MA)】



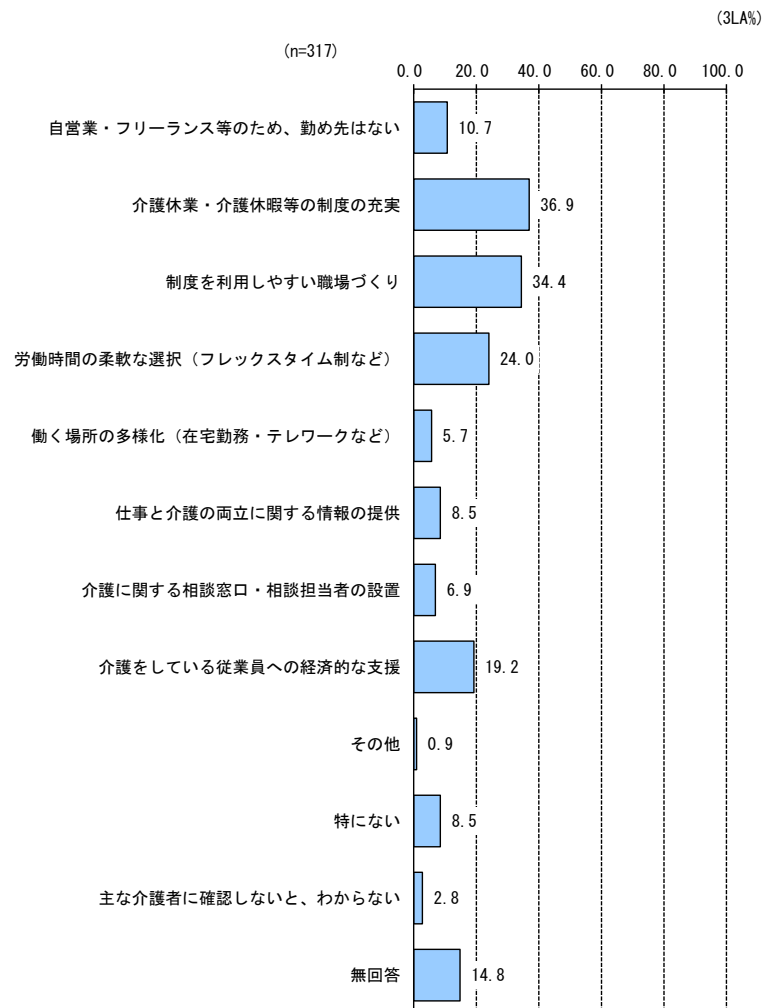
④ 勤め先からの必要な支援

- B票 問24 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで○）

【全体】

- B 問 24 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますかについて、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が36.9%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が34.4%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が24.0%となっています。

【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援(3LA)】



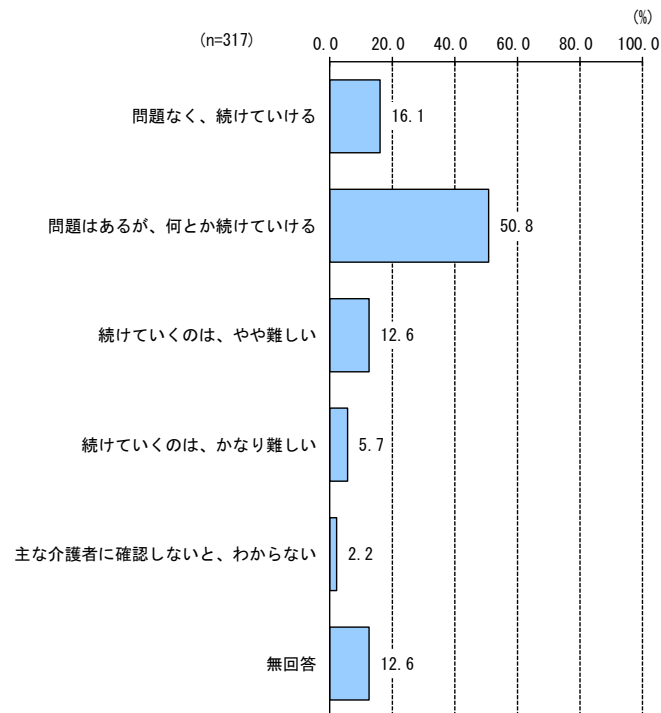
⑤ 今後の介護と仕事の両立

- B票 問25 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つだけ○)

【全体】

- B 問 25 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですかについて、「問題はあるが、何とか続けていける」が 50.8%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が 16.1%、「続けていくのは、やや難しい」が 12.6%となっています。

【今後の仕事と介護の両立】



4. 支援・サービス

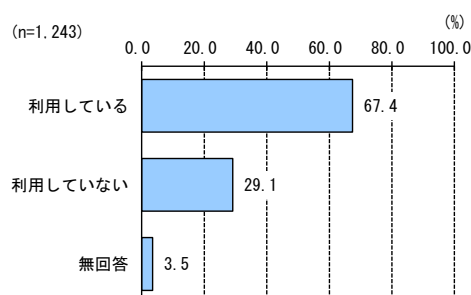
(1) 介護保険サービス（利用状況、満足度、利用していない理由）

- A票 問14 調査の対象者は、現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（1つだけ○）

【全体】

- A 問 14 調査の対象者は、現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますかについて、「利用している」が 67.4%、「利用していない」が 29.1%となっています。

【（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスの利用状況】

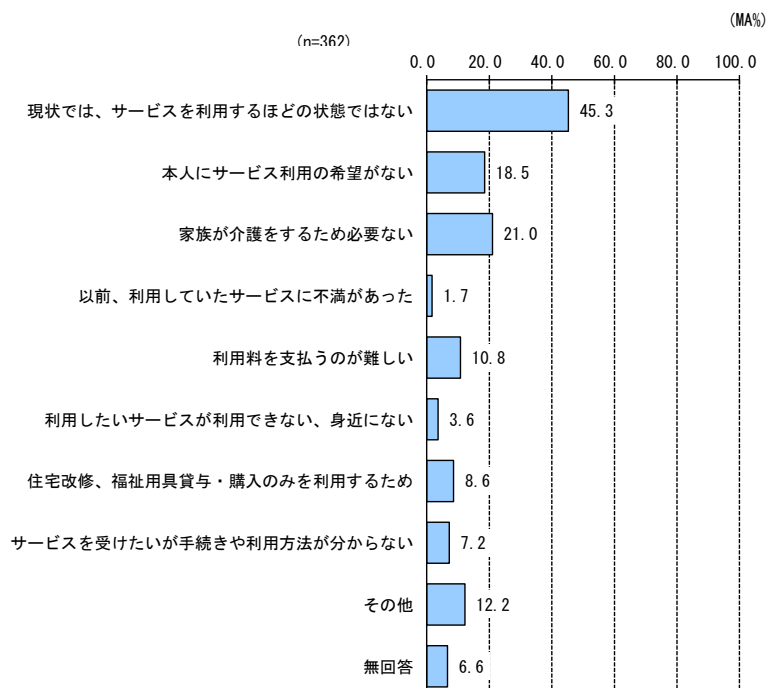


- A票 問15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（いくつでも○）

【全体】

- A 問 15 介護保険サービスを利用していない理由は何ですかについて、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 45.3%で最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 21.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が 18.5%となっています。

【介護保険サービスを利用していない理由 (MA)】



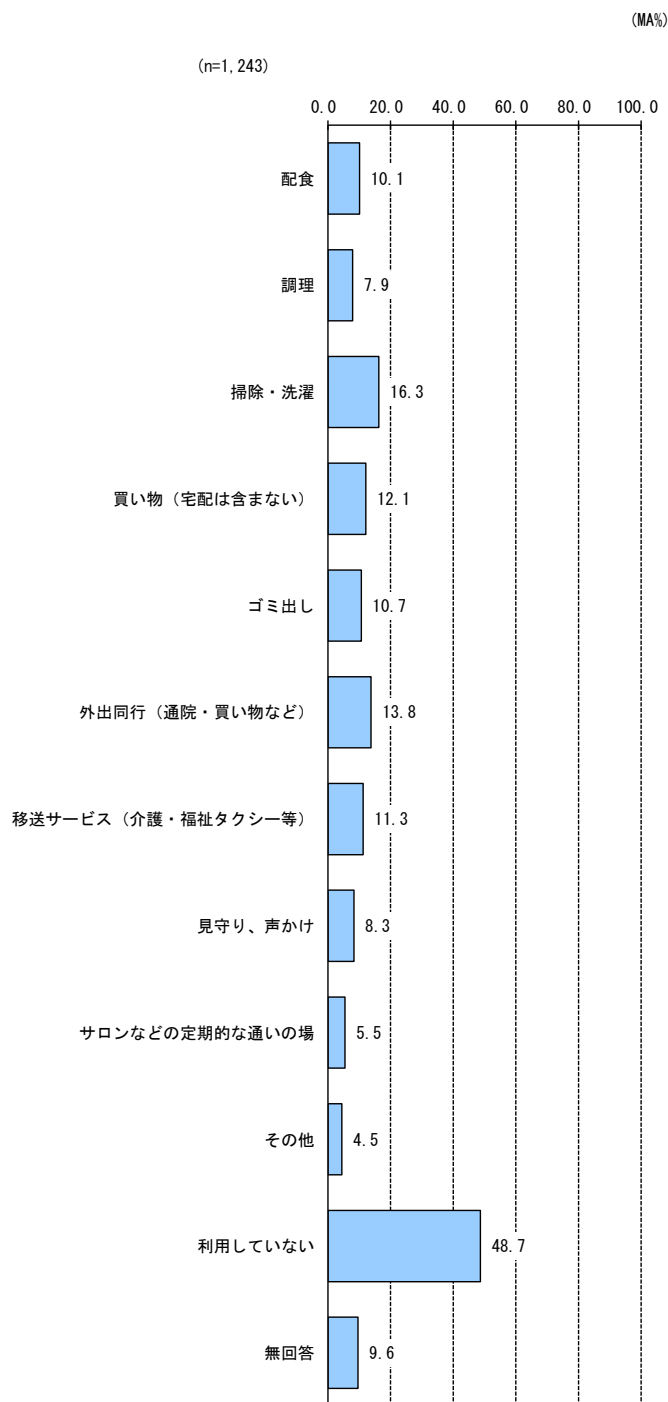
(2) 介護保険サービス以外の支援・サービス

- A票 問9 現在、調査の対象者が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(いくつでも○)

【全体】

○ A 問 9 現在、調査の対象者が利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答くださいについて、「利用していない」が48.7%で最も多く、次いで「掃除・洗濯」が16.3%、「外出同行（通院・買い物など）」が13.8%となっています。

【利用している介護保険サービス以外の支援・サービス(MA)】



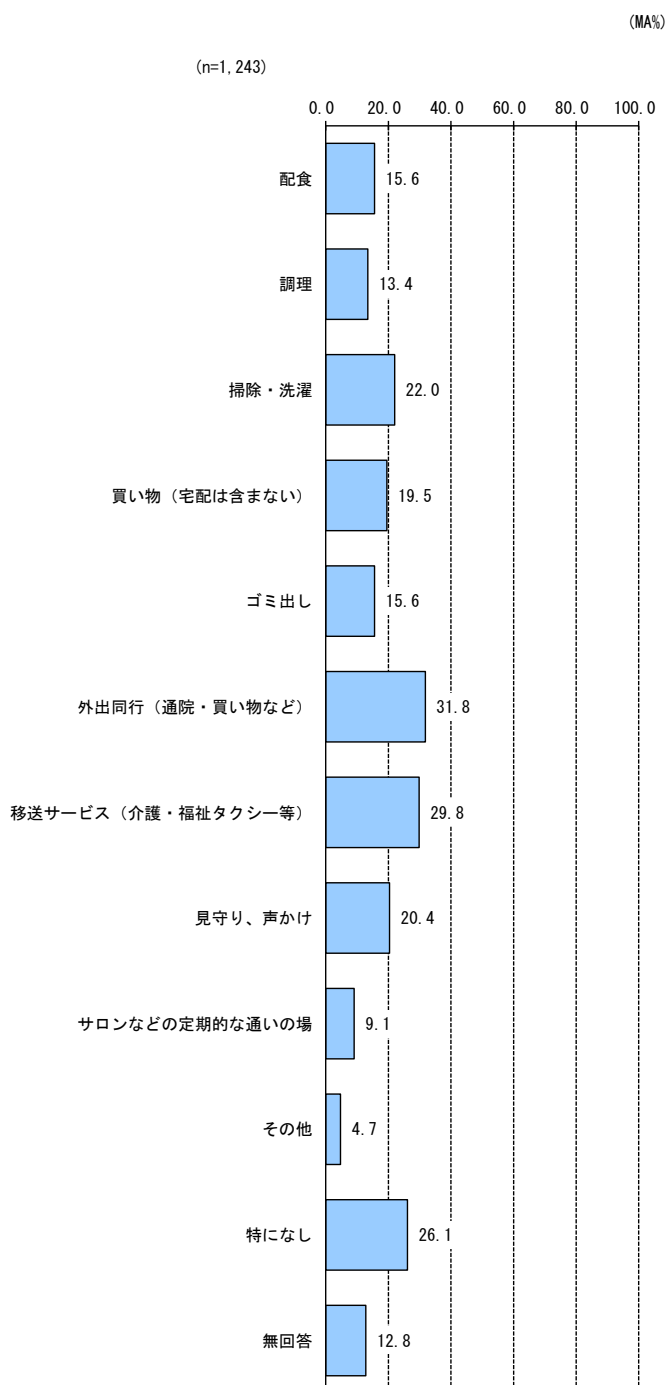
(3) 在宅生活に必要な支援・サービス

- A票 問10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。
（いくつでも○）

【全体】

- A 問 10 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答くださいについて、外出同行（通院・買い物など）が 31.8%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 29.8%、「特になし」が 26.1%となっています。

【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)】



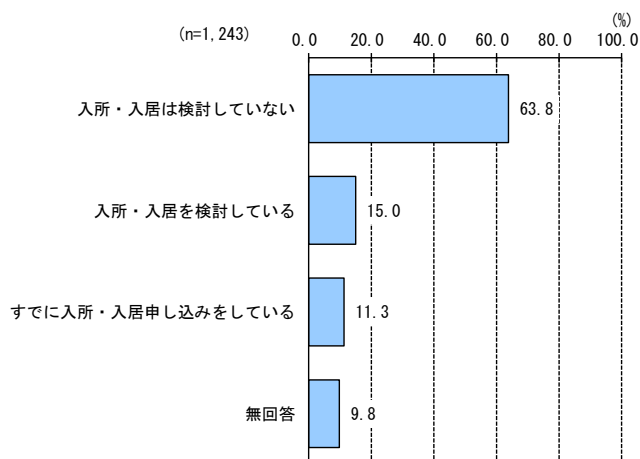
(4) 施設等への入所・入居の検討状況

- A票 問11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
(1つだけ○)

【全体】

- A 問 11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答くださいについて、「入所・入居は検討していない」が63.8%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が15.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が11.3%となっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】



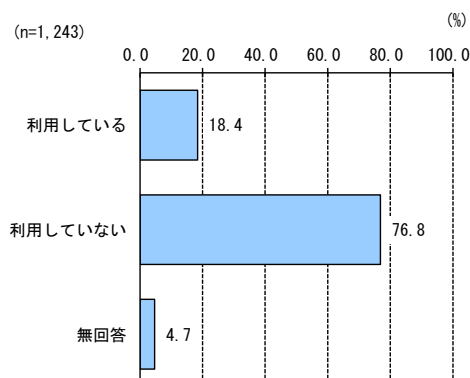
(5) 訪問診療の利用状況

- A票 問13 調査の対象者は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つだけ○)

【全体】

- A 問 13 調査の対象者は、現在、訪問診療を利用していますかについて、「利用している」が18.4%、「利用していない」が76.8%となっています。

【訪問診療の利用有無】



5. 地域について

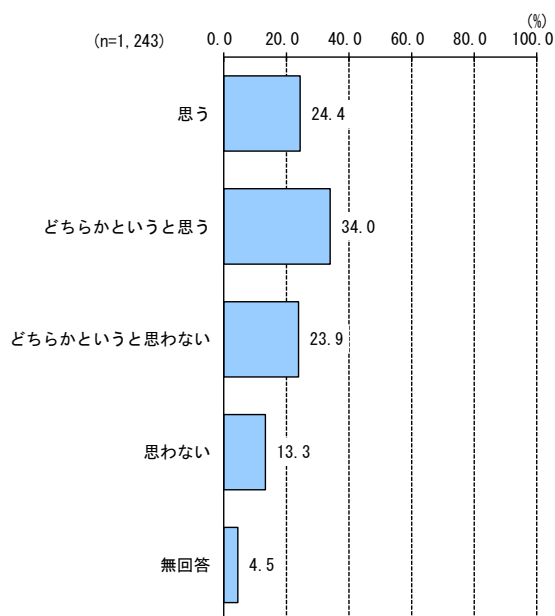
(1) 在宅生活を安心して継続することができるか

- A票 問16 あなたのお住まいの地域は、高齢になっても自宅での生活を安心して継続することができる地域だと思いますか。(1つだけ○)

【全体】

- A 問 16 あなたのお住まいの地域は、高齢になっても自宅での生活を安心して継続することができる地域だと思いますかについて、「どちらかというと思う」が34.0%で最も多く、次いで「思う」が24.4%、「どちらかというと思わない」が23.9%となっています。

【在宅継続可能性】

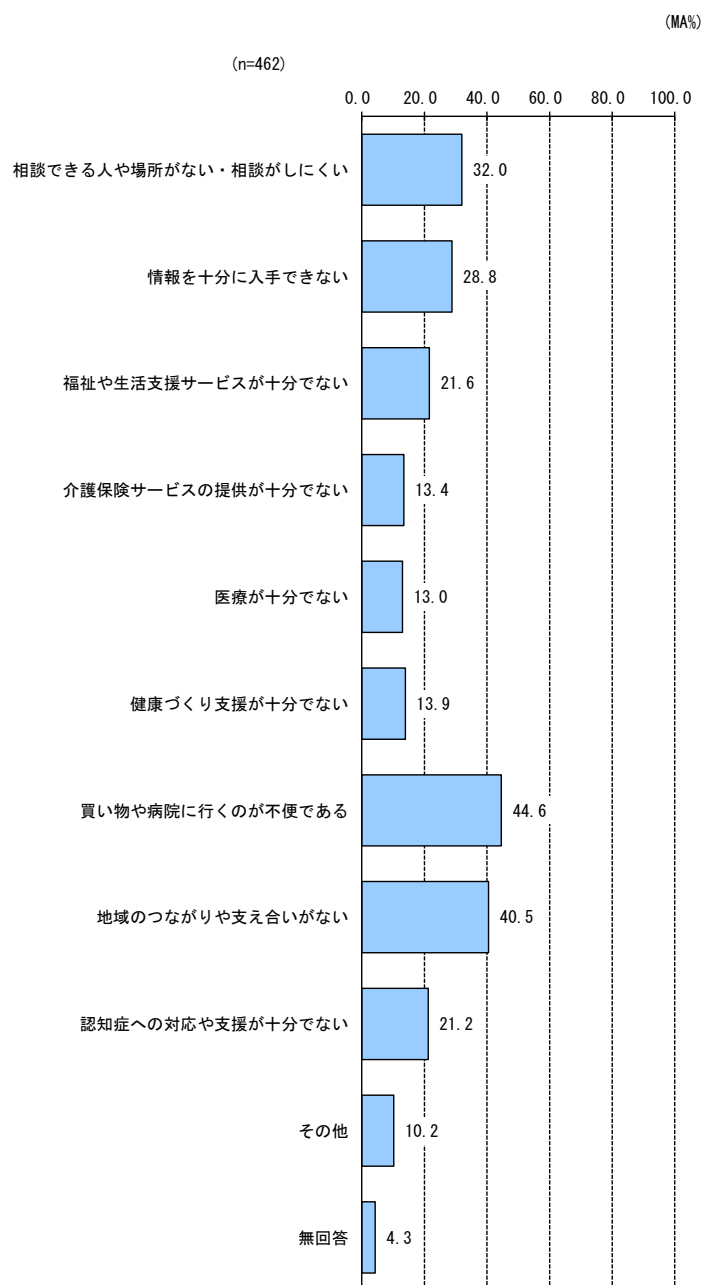


●A票 問17 思わないのは、どのような理由ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ A 問 17 思わないのは、どのような理由ですかについて、「買い物や病院に行くのが不便である」が 44.6%で最も多く、次いで「地域のつながりや支え合いがない」が 40.5%、「相談できる人や場所がない・相談がしにくい」が 32.0%となっています。

【在宅生活継続が可能だと思わない理由】



6. 新型コロナウイルス感染症について

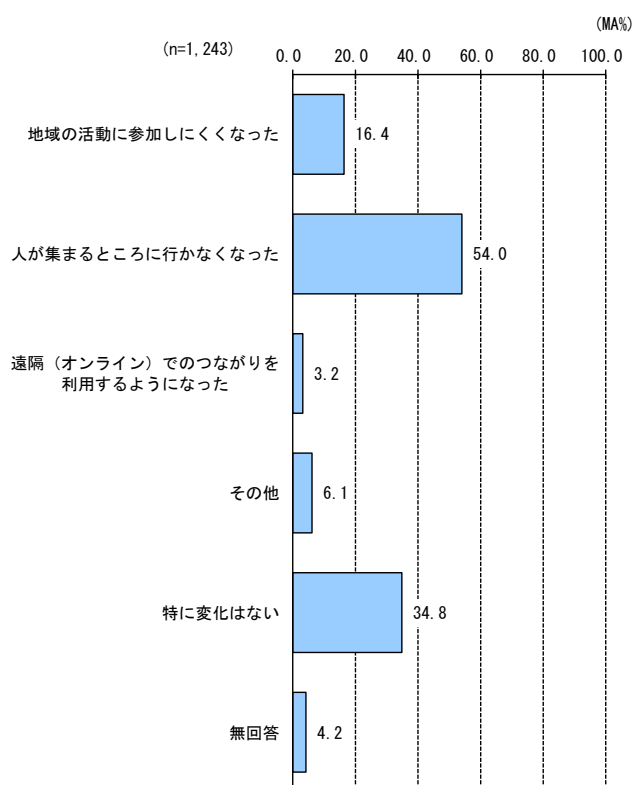
(1) 新型コロナウイルス感染症における行動の変化

- A票 問18 新型コロナウイルス感染症の流行を受けてあなたの行動に変化はありましたか。(いくつでも○)

【全体】

- A 問 18 新型コロナウイルス感染症の流行を受けてあなたの行動に変化はありましたかについて、「人が集まる場所に行かなくなった」が54.0%で最も多く、次いで「特に変化はない」が34.8%、「地域の活動に参加しにくくなった」が16.4%となっています。

【新型コロナウイルス感染症における行動の変化】



7. 人生の最終段階について

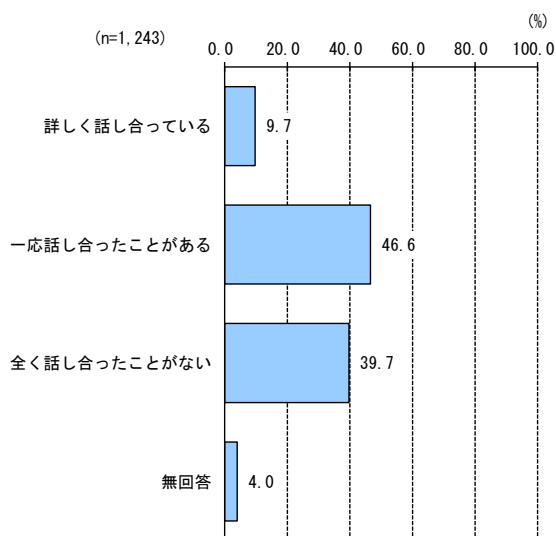
(1) 人生の最終段階について

- A票 問19 あなたは、ご自身の延命に関わる治療について、ご家族やご親族、主な介護者の方とどのくらい話し合ったことがありますか。(1つだけ○)

【全体】

- A 問 19 あなたは、ご自身の延命に関わる治療について、ご家族やご親族、主な介護者の方とどのくらい話し合ったことがありますかについて、「一応話し合ったことがある」が46.6%で最も多く、次いで「全く話し合ったことがない」が39.7%、「詳しく話し合っている」が9.7%となっています。

【延命治療等について話し合っているか】

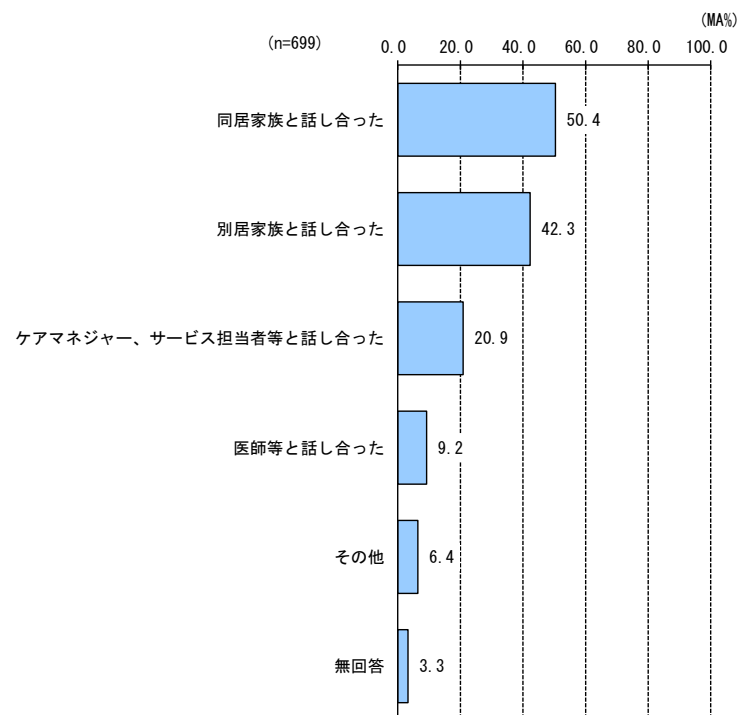


- A票 問20 人生の最終段階において、あなたの意思に沿った医療やケアを受けるために、ご家族や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと（人生会議）が重要と言われています。あなたは、周囲のどなたとこのような話し合いを進めていますか。（いくつでも○）

【全体】

- A 問 20 人生の最終段階において、あなたの意思に沿った医療やケアを受けるために、ご家族や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと（人生会議）が重要と言われています。あなたは、周囲のどなたとこのような話し合いを進めていますかについて、「同居家族と話し合った」が 50.4%で最も多く、次いで「別居家族と話し合った」が 42.3%、「ケアマネジャー、サービス担当者等と話し合った」が 20.9%となっています。

【延命治療等について話し合っているか】



8. 在宅生活継続に向けた6つの検討項目における集計結果

◆検討テーマと集計・分析の狙い

●要介護者の在宅生活の継続／介護者の就労継続

基本的な視点	検討テーマ	集計・分析の狙い
要介護者の在宅生活の継続	1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「施設等の検討状況」の「入所・入居は検討していない」の割合と、「介護者が不安になる介護」を指標としながら、サービス利用のパターンとの関係进行分析し、在宅限界点の向上を図るために必要となる取組について検討する。
介護者の就労継続	2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「介護者の就労状況」と「介護者の就労継続の可否に係る意識」を指標としながら、介護状況やサービス利用のパターンとの関係进行分析し、介護者の就労継続のために必要となる取組について検討する。

●支援・サービスの提供体制の検討

検討テーマ	集計・分析の狙い
3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	○ 主に「今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、世帯類型別・要介護度別のニーズを集計・分析し、整備が必要となる地域資源を検討する。
4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「世帯類型」について、世帯類型別のサービス利用のパターンを集計・分析し、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制について検討する。
5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	○ 主に「訪問診療の利用の有無」について、訪問診療の利用の有無別のサービス利用のパターンを集計・分析し、医療ニーズのある在宅療養者を支えるための支援・サービスの提供体制について検討する。
6 サービス未利用の理由など	○ 上記以外の、地域での検討に有用と考えられる事項について検討する。

(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

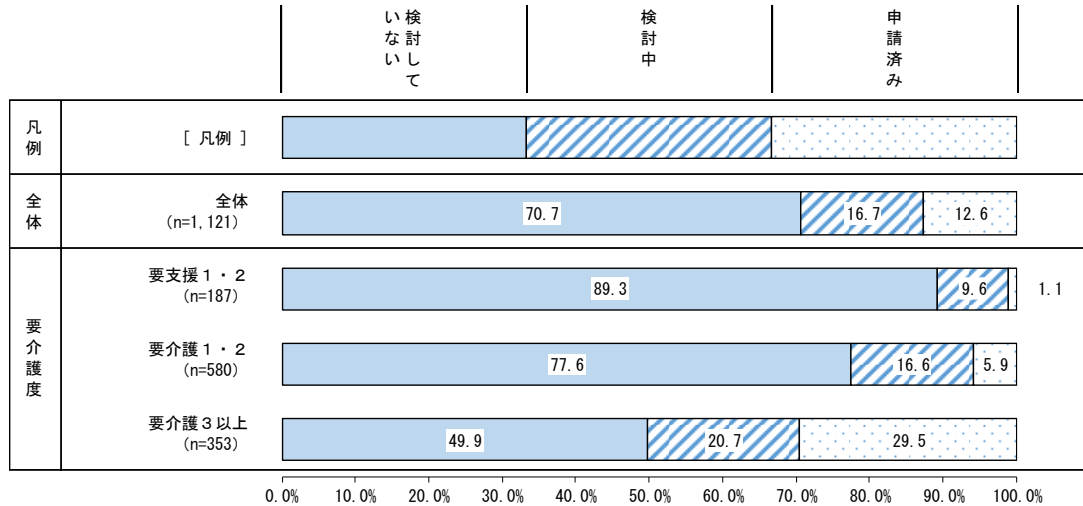
① 施設等への入所・入居の検討状況

●要介護度

【全体】

- 要介護度が高くなるほど、「検討中」と「申請済み」を合わせた“入所・入居意向あり”が多くなっています。特に要介護3では5割程度が“入所・入居意向あり”となっています。

【要介護度別・施設等検討の状況】

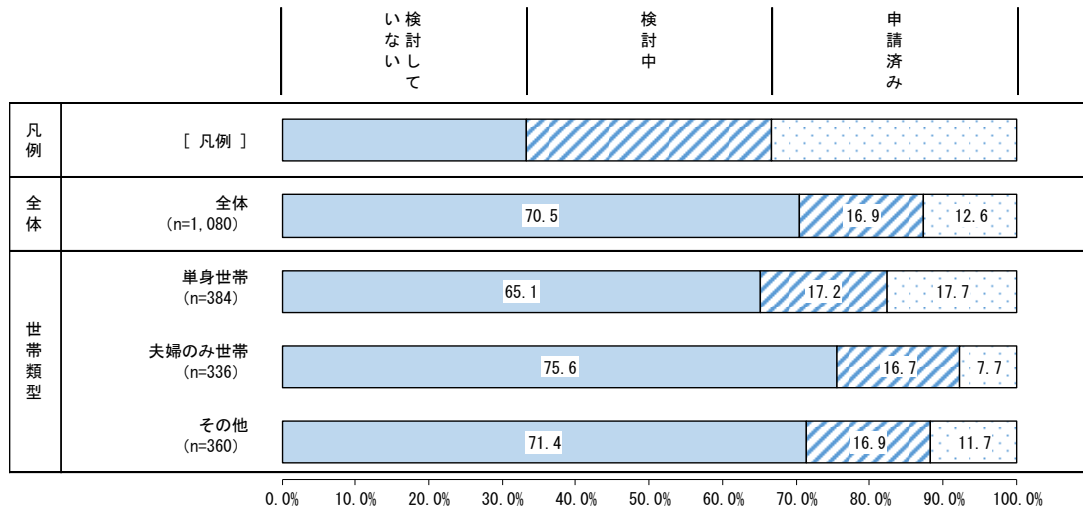


●世帯類型

【全体】

- 単身世帯では「申請済」が17.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯類型別・施設等検討の状況】



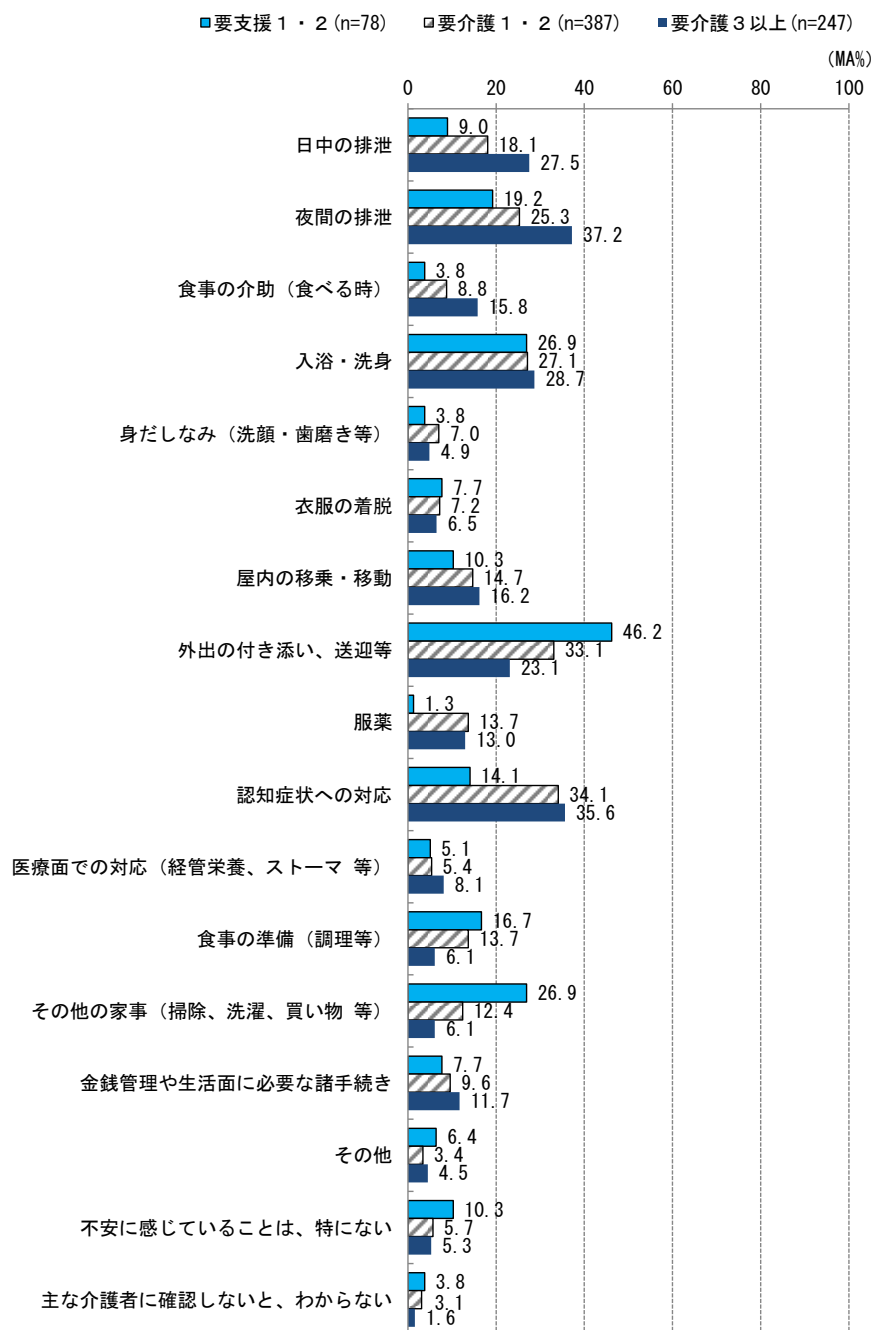
② 介護者が不安に感じる介護

● 要介護度

【全体】

○ 「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」においては要介護度が上がるほど、少なくなる傾向が見られます。

【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】

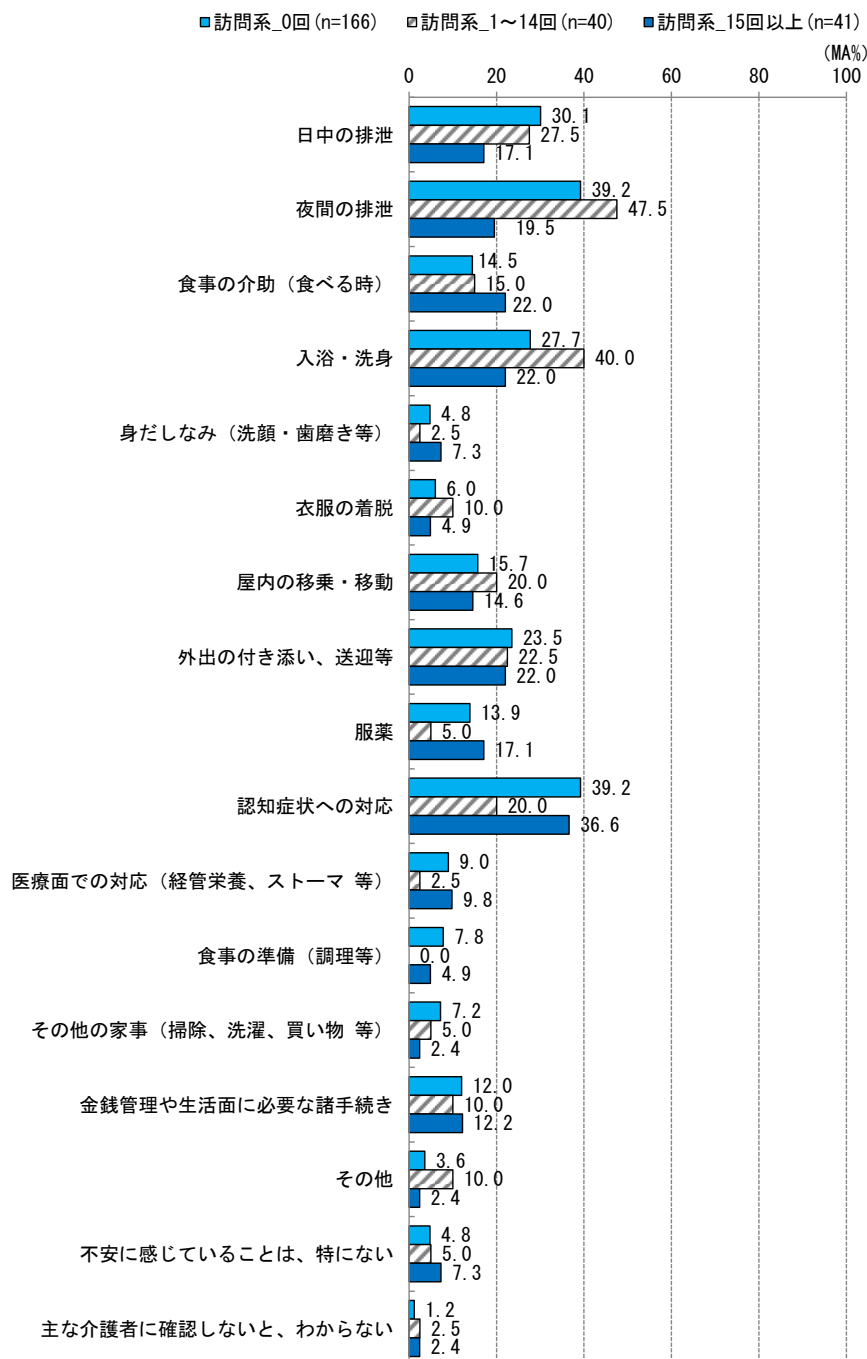


●訪問系サービスの利用回数

【全体】

- 要介護3以上で訪問系サービスを利用している方では利用していない方に比べて、「日中の排泄」「外出の付き添い、送迎等」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。

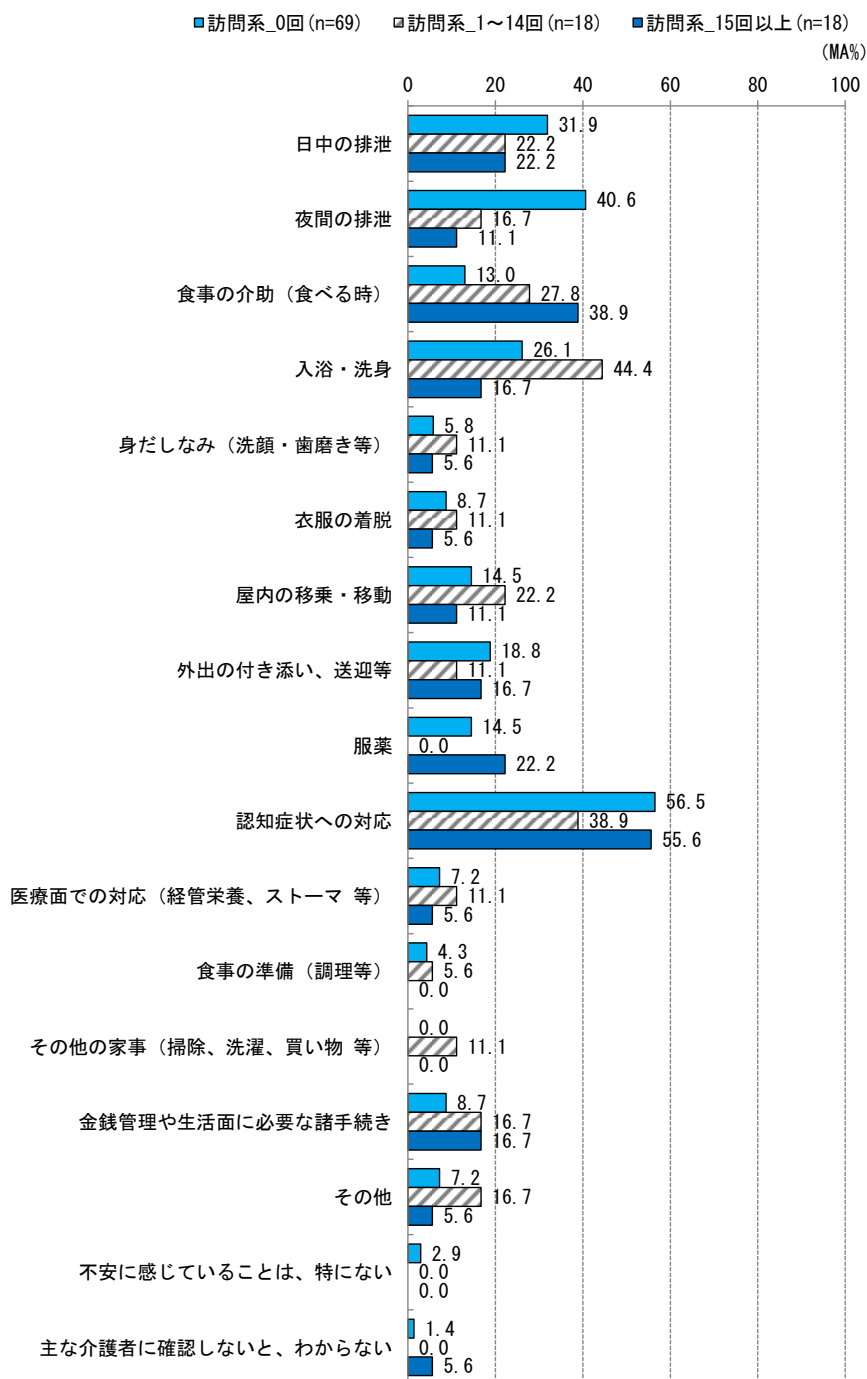
【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）】



【全体】

- 認知症自立度Ⅲ以上で訪問系サービスを利用している方では利用していない方に比べて、「日中・夜間の排泄」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）】

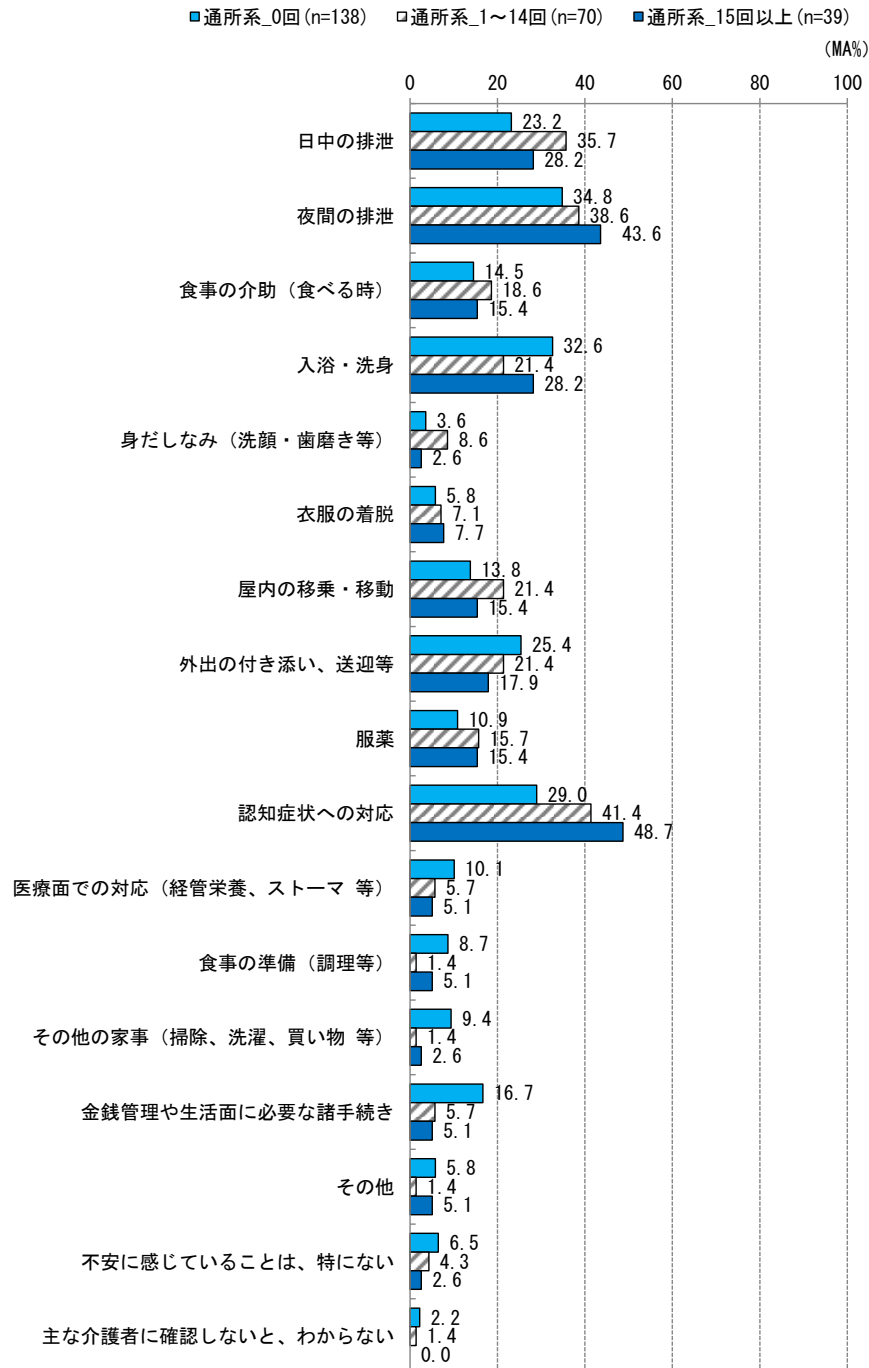


●通所系サービスの利用回数

【全体】

- 要介護3以上で通所系サービスを利用している方では利用していない方に比べて、「入浴・洗身」「外出の付き添い、送迎等」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。

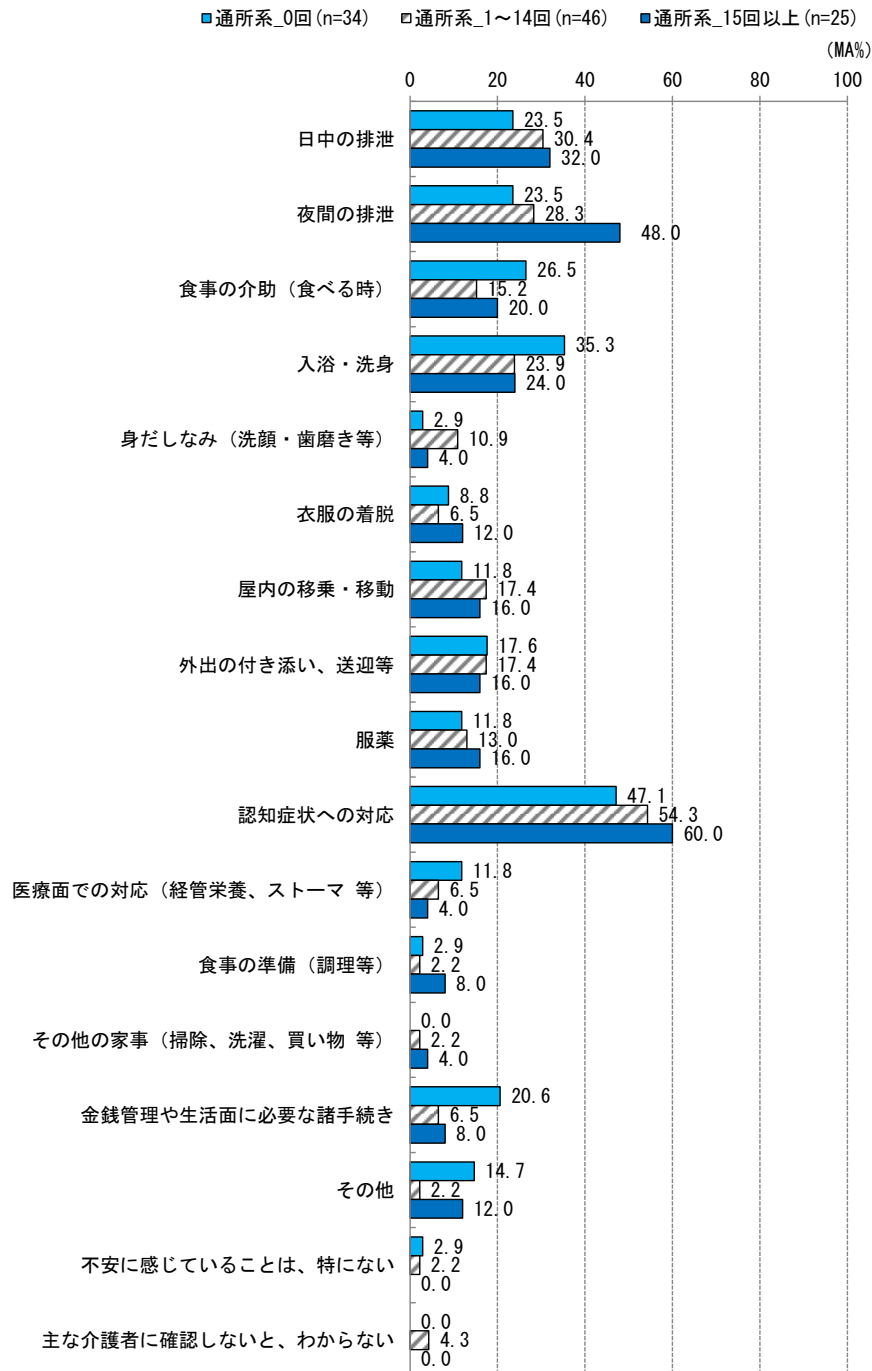
【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）】



【全体】

- 認知症自立度Ⅲ以上で通所系サービスを利用している方では利用していない方に比べて、「食事の介助（食べる時）」「入浴・洗身」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）】

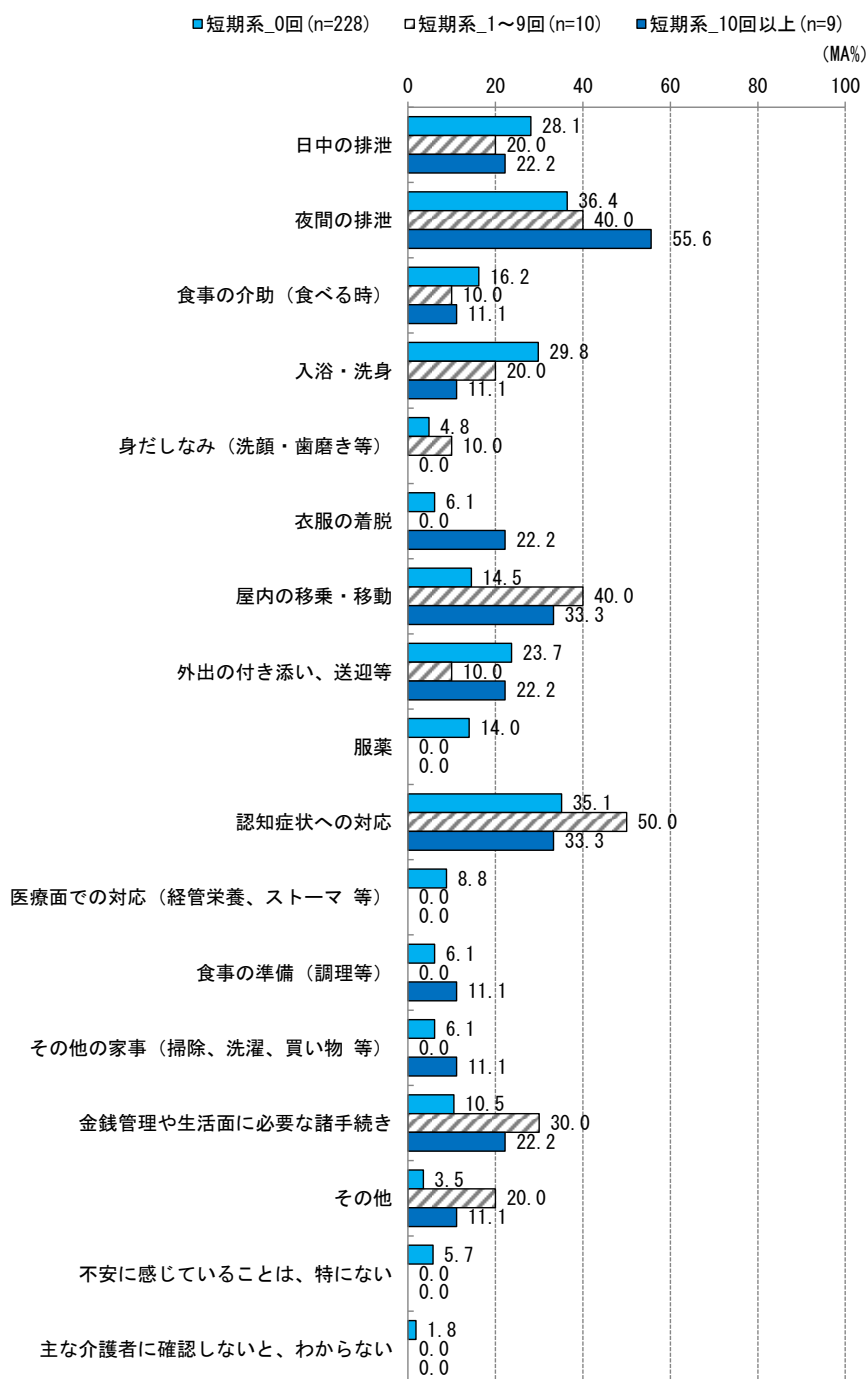


●短期系サービスの利用回数

【全体】

- 要介護3以上で短期系サービスを利用している方では、利用していない方に比べて、「日中の排泄」「食事の介助（食べる時）」「入浴・洗身」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。

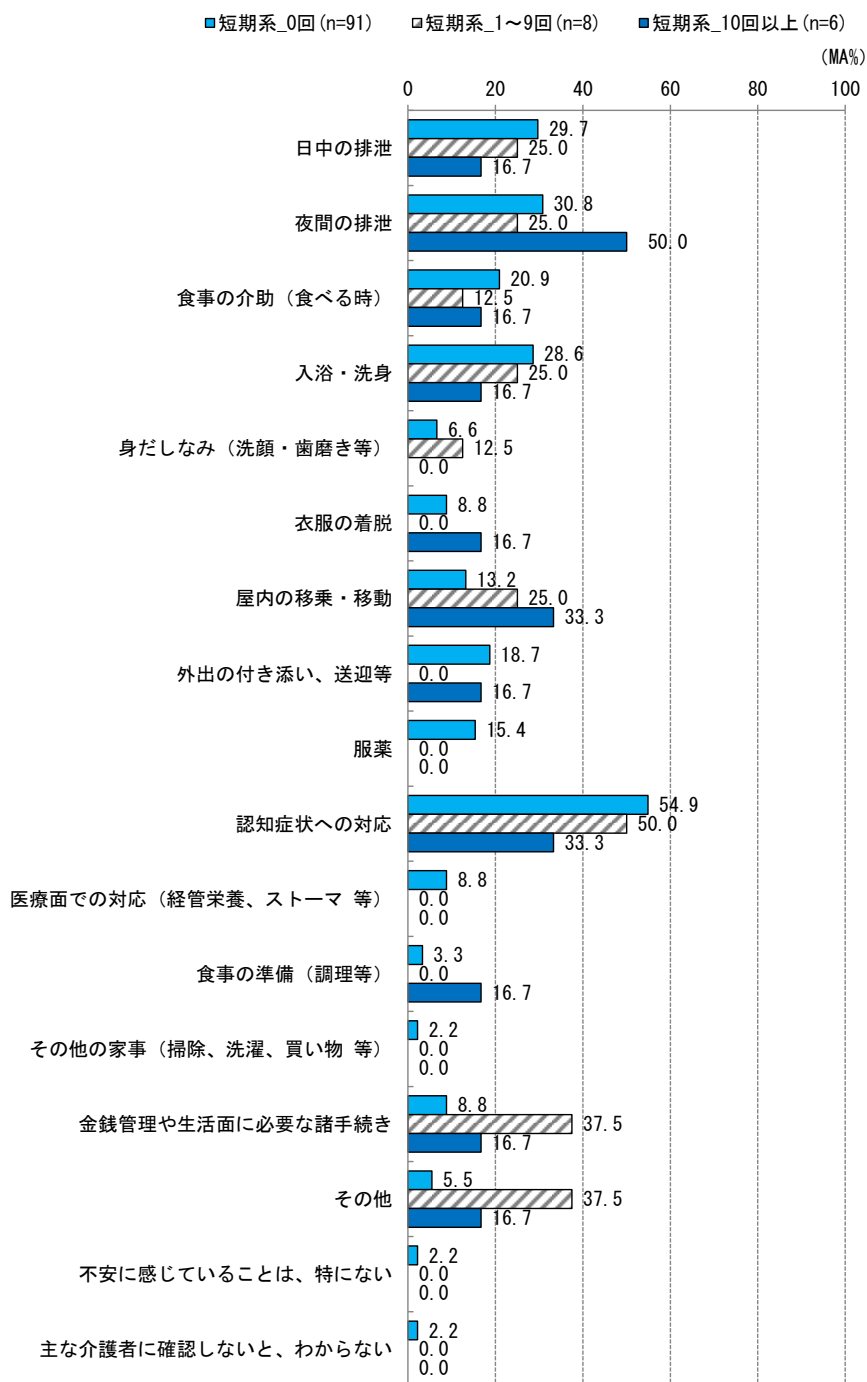
【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）】



【全体】

- 認知症自立度Ⅲ以上で短期系サービスを利用している方では、利用していない方に比べて、「日中の排泄」「食事の介助（食べる時）」「入浴・洗身」「認知症状への対応」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）】



③ 総括

①在宅介護者の施設検討

介護度別にみると、一般的に施設ニーズの高い要介護3以上の方で「検討中」、「申請済み」の方が50.2%、「検討していない」方が49.9%となっています。

介護の必要性が低いうちは、在宅で介護を受ける意向が高い傾向があります。在宅生活を継続する意向がある方への在宅生活継続に向けた支援の検討が必要と考えられます。

検討中の方は世帯類型に影響されていませんが、単身世帯の17.7%は申請済みとなっています。また単身世帯で施設への入所・入居が必要である方については、すでに入所・入居していることが考えられます。

②「主な介護者が不安に感じる介護」や「サービス利用の組み合わせ」の変化

在宅で介護を主に行っている介護者が不安に感じる介護としては、「外出の付き添い、送迎等」をはじめ、「排泄」、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」等、生活機能の介助に不安を抱えています。これらは介護者不安の側面からみた場合の在宅生活の継続を諦めざるを得ない要素となりえるため、これらに係る介護不安をいかに軽減していくかが、在宅生活継続のポイントになると考えられます。

介護負担の大きさから、在宅から入所・入居に切り替える可能性が高いと考えられる要介護3以上の方の介護者の不安要因は、訪問系サービス利用者はサービスの利用回数が概ね減少するにつれて、通所系サービス利用者は利用回数が増加するにつれて、「日中夜間の排泄」と「認知症への対応」が多くなる傾向があります。

訪問系サービスを頻回に利用している人では、先述の不安に感じる介護のうち、夜間の排泄に不安を感じる人が少なくなっています。

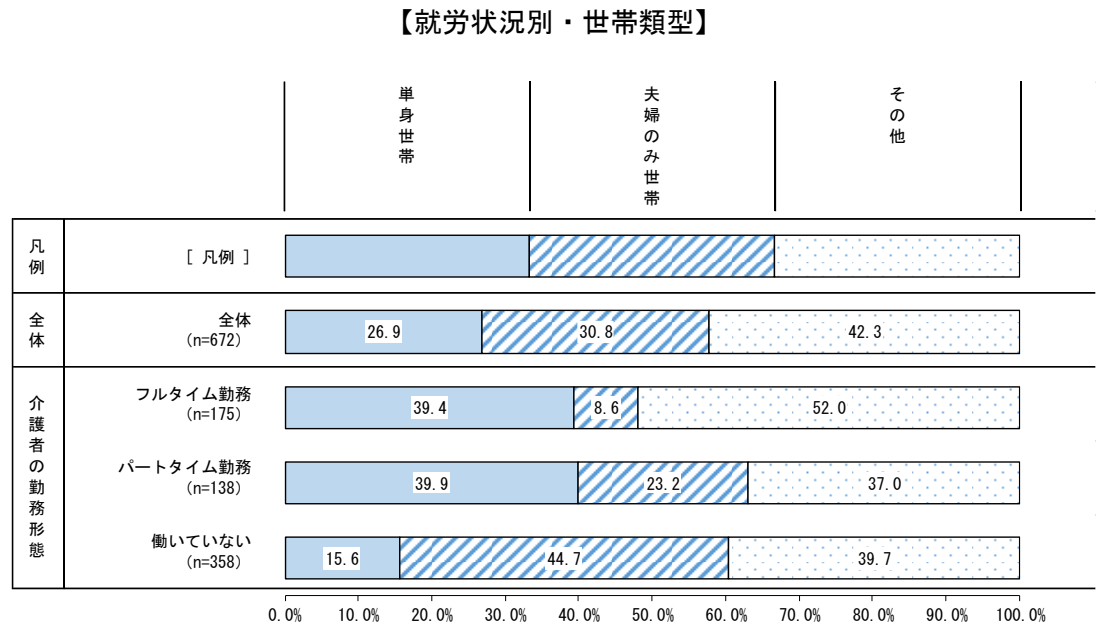
在宅での生活に介護職・看護職等の目が多く入ることにより、在宅での生活環境の改善や介護者の不安の軽減につながっている可能性が考えられますが、一方で、日中の排泄、認知症状への対応については、介護者の不安軽減策の検討が課題と考えられます。

(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

① 就労状況

● 世帯類型

【全体】
○ 主な介護者がフルタイム勤務であり、要介護者本人が単身世帯である割合は 39.4%となっています。

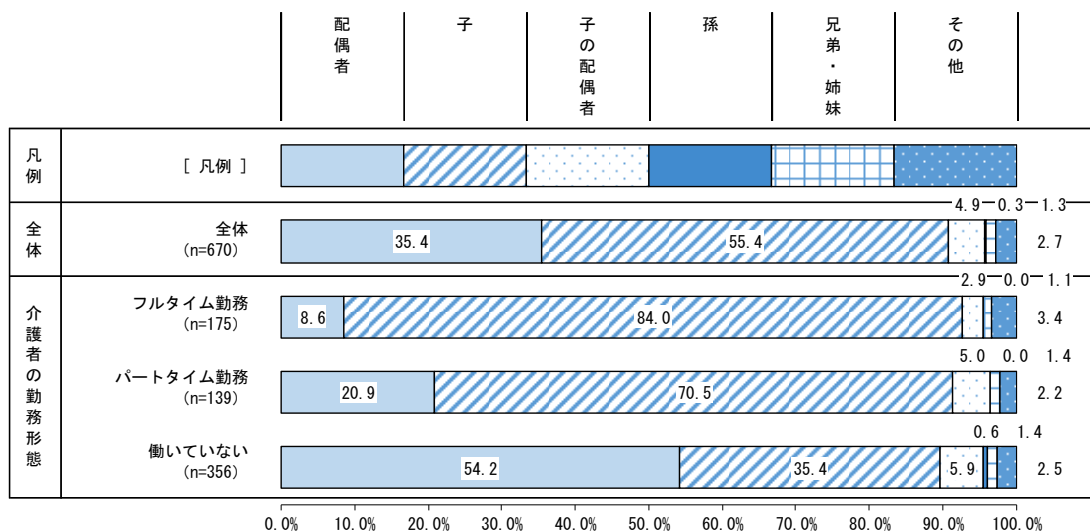


●主な介護者

【全体】

- フルタイム・パートタイム勤務をみると、7割以上が「子」となっています。
- 働いていない方をみると、「配偶者」が半数以上となっています。

【就労状況別・主な介護者の本人との関係】

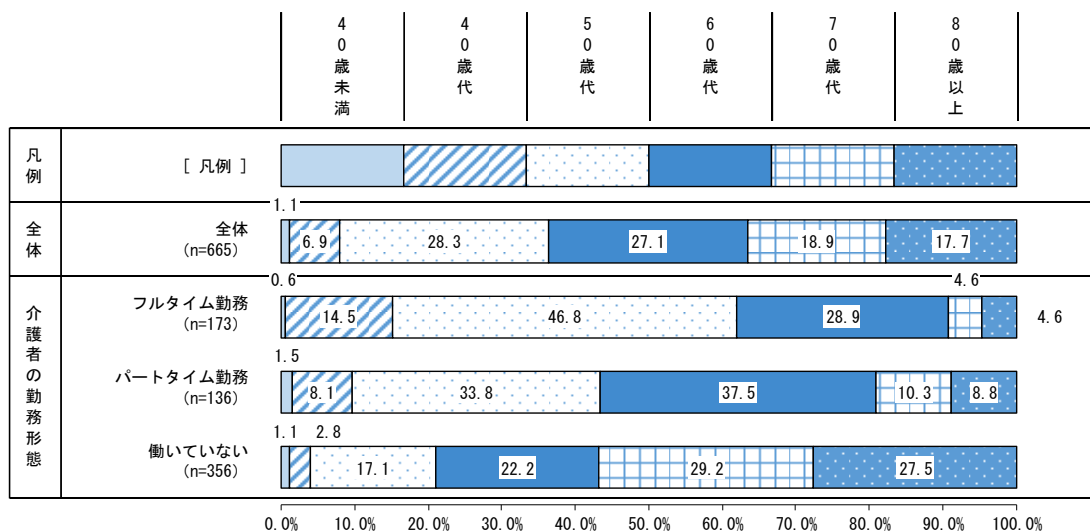


●主な介護者の年齢

【全体】

- フルタイム勤務をみると、「50歳代」以下が46.8%と多くなっていますが、パートタイム勤務、働いていない方をみると、「60歳代」以上がいずれも半数以上となっています。

【就労状況別・主な介護者の年齢】

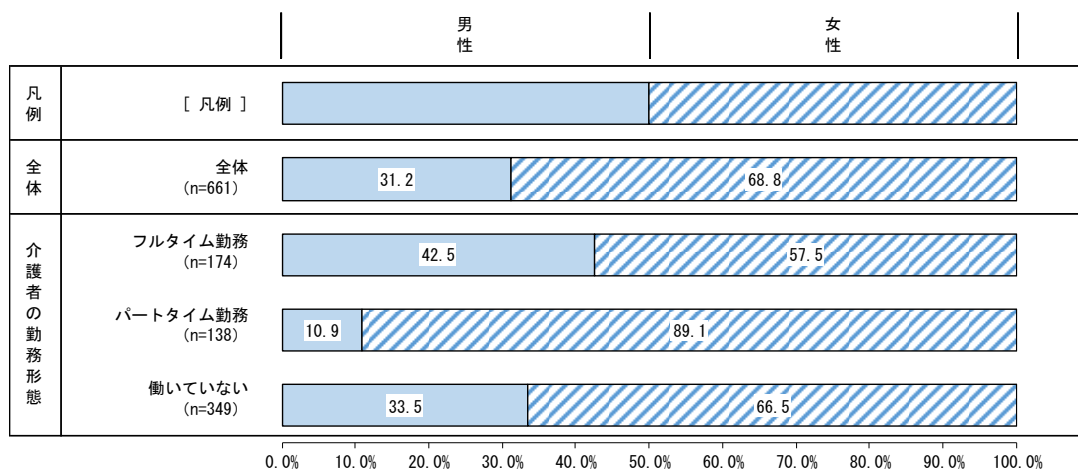


●主な介護者の性別

【全体】

- 全体として女性が多く、特にパートタイム勤務をみると「女性」が 89.1%となっています。しかしフルタイム勤務では約半数が「男性」となっています。

【就労状況別・主な介護者の性別】

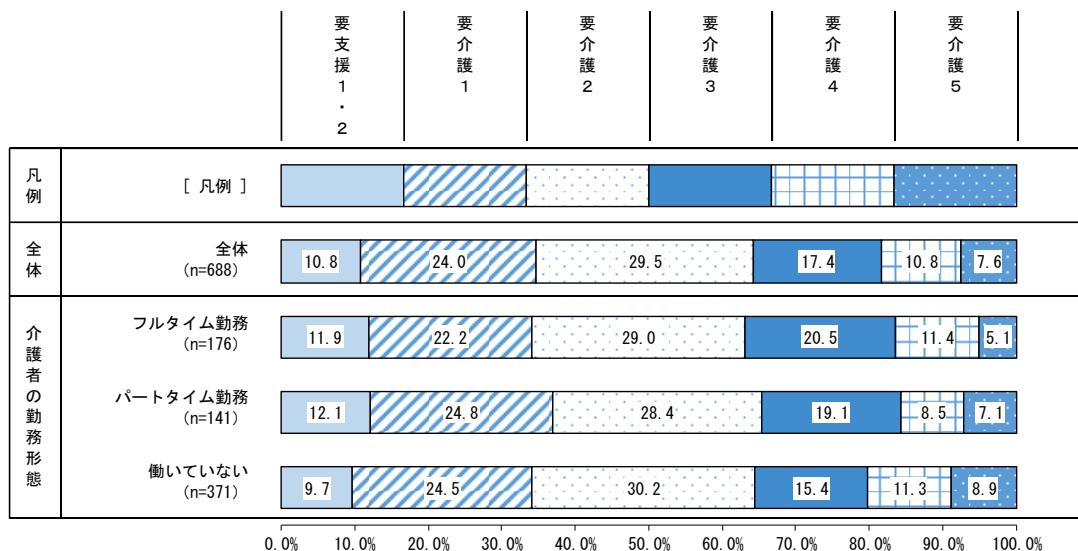


●本人の要介護度

【全体】

- 勤務時間が長くなるほど要介護5の割合が少なくなっています。

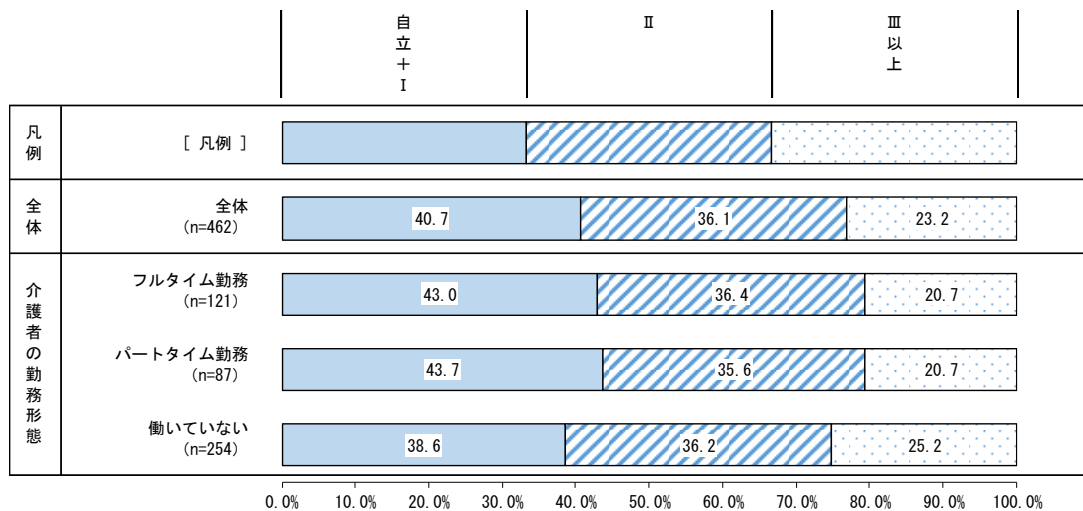
【就労状況別・要介護度】



● 本人の認知症自立度

【全体】
○ 働いていないをみると、認知症自立度「Ⅱ」以上が 61.4%と多くなっています。

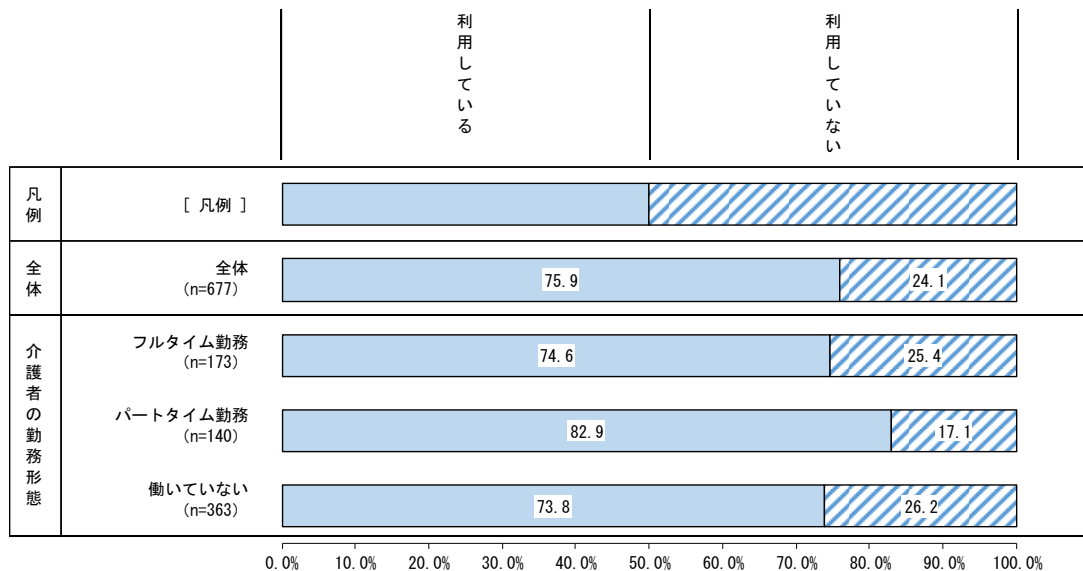
【就労状況別・認知症自立度】



● 介護保険サービスの利用有無

【全体】
○ パートタイム勤務をみると、「利用している」が 82.9%と多くなっています。
○ 働いていないでは「利用している」が 73.8%と少なくなっています。

【就労状況別・介護保険サービス利用の有無】

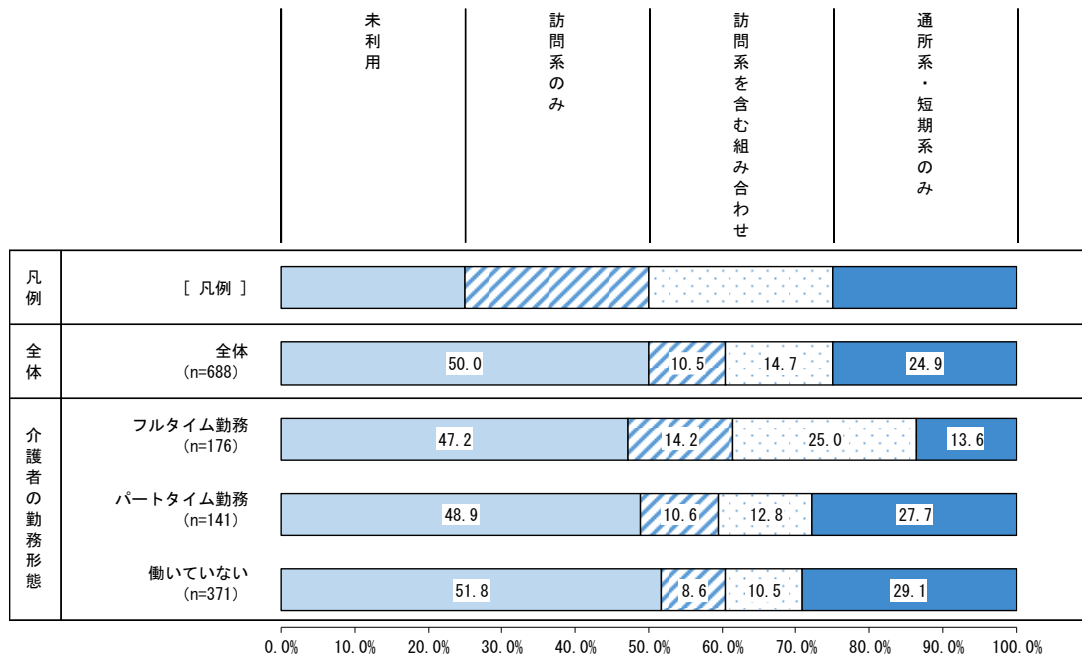


● サービス利用の組み合わせ

【全体】

- フルタイム勤務では他の区分に比べて「訪問系を含む組み合わせ」が 25.0%と多く、「通所系・短期系のみ」が 13.6%と少なくなっています。

【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】



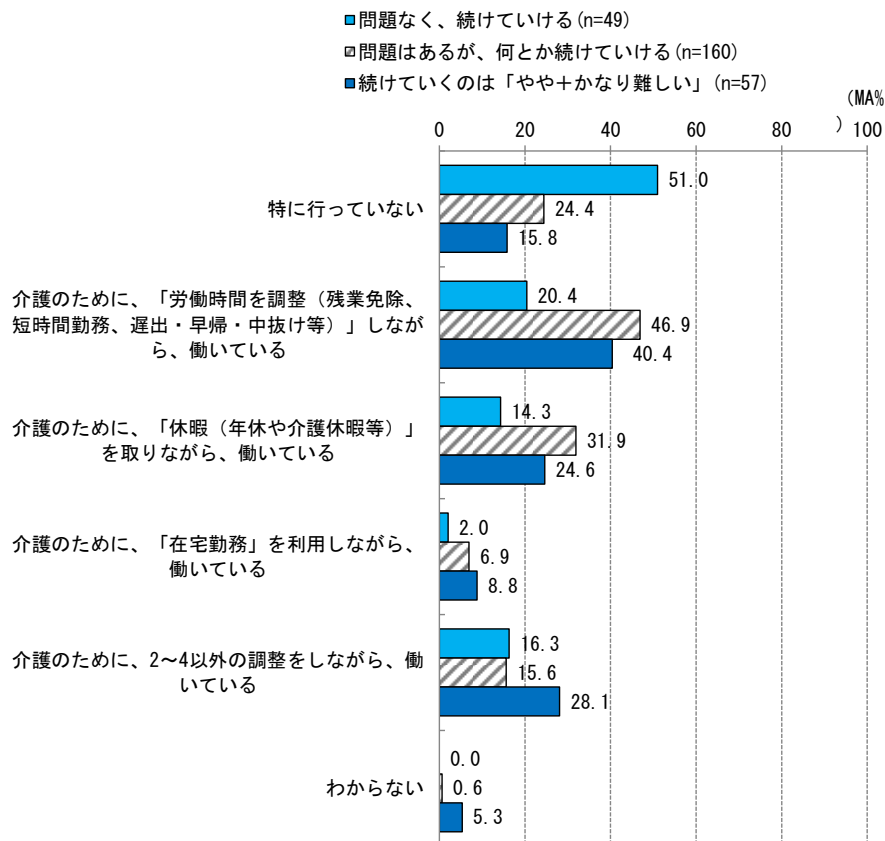
② 就労継続見込み

● 介護のための働き方の調整

【全体】

- 問題はあるが何とか続けていける方をみると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 46.9%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 31.9%他の区分に比べて多くなっています。

【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

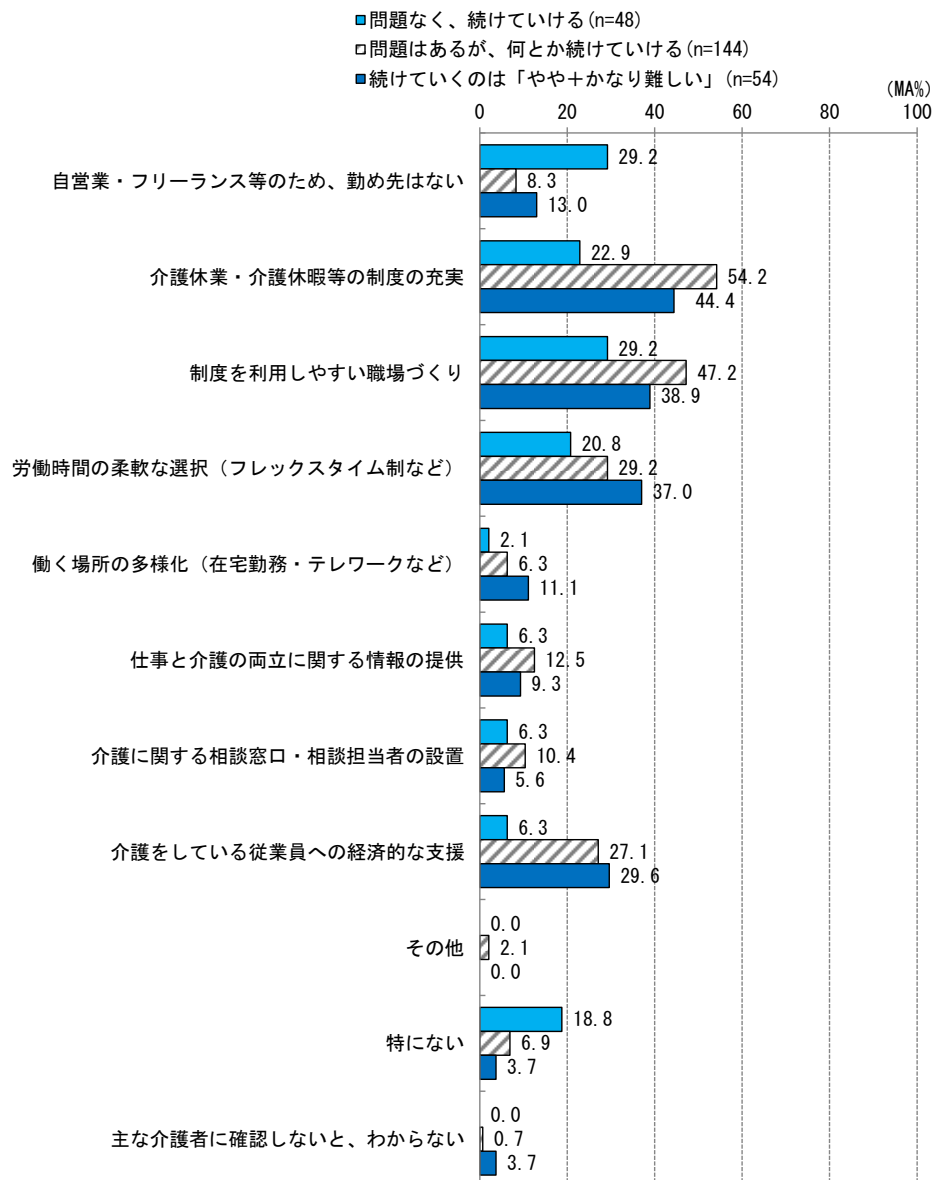


●効果的な勤め先からの支援

【全体】

- 続けていくのは「やや+かなり難しい」方をみると、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が37.0%、「働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）」が11.1%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が29.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【就労継続見込み別・効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】



③ 総括

①就労状況別の主な介護者の状況

2人以上の世帯の主な介護者は「フルタイム勤務」が60.6%、「パートタイム勤務」が60.2%、「働いていない」が84.4%となっています。

主な介護者と本人との関係をみると、「フルタイム勤務」は主な介護者が50歳代の子、「パートタイム勤務」は50～60歳代の子、「働いていない」は70歳代以上の配偶者が多くを占めており、老々介護の可能性が高くなっています。

主な介護者は女性が約7割を占めていますが、就労状況別の主な介護者の性別をみると、「フルタイム勤務」「働いていない」に比べて「パートタイム勤務」では性差が大きくなっています。

②就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

就業を「問題はあるが、何とか続けていける」「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」と答えた方が介護サービスや職場の働き方の調整を通じて支援すべき主な対象と考えられ、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」「介護をしている従業員への経済的な支援」等、介護に関連する様々な制度等のさらなる環境整備が求められています。

(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

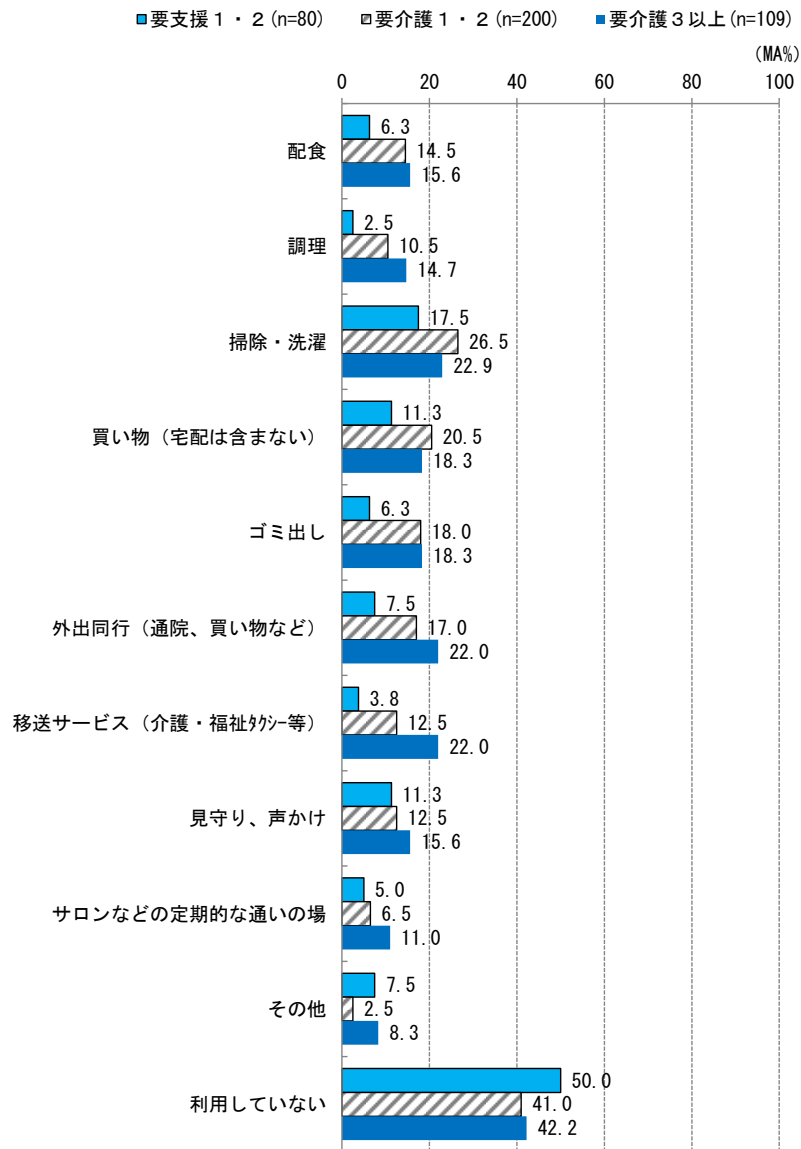
① 保険外の支援・サービスの利用状況

●要介護度

【全体】

- 単身世帯をみると、ほとんどのサービスで要介護度が高くなるほど利用割合が多くなっていますが、「掃除・洗濯」「買い物（宅配は含まない）」では要介護1・2が多くなっています。

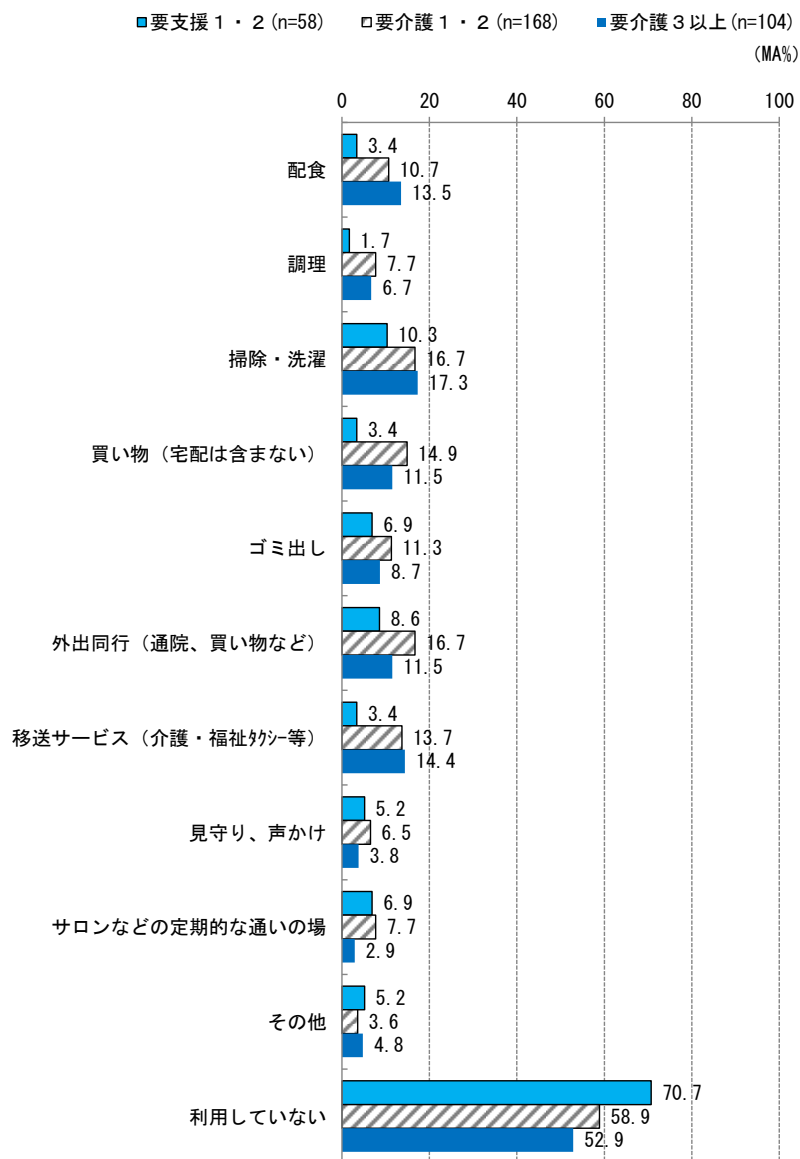
【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）】



【全体】

- 夫婦のみ世帯において、要介護度が高くなるほど「配食」「掃除・洗濯」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が多くなっています。

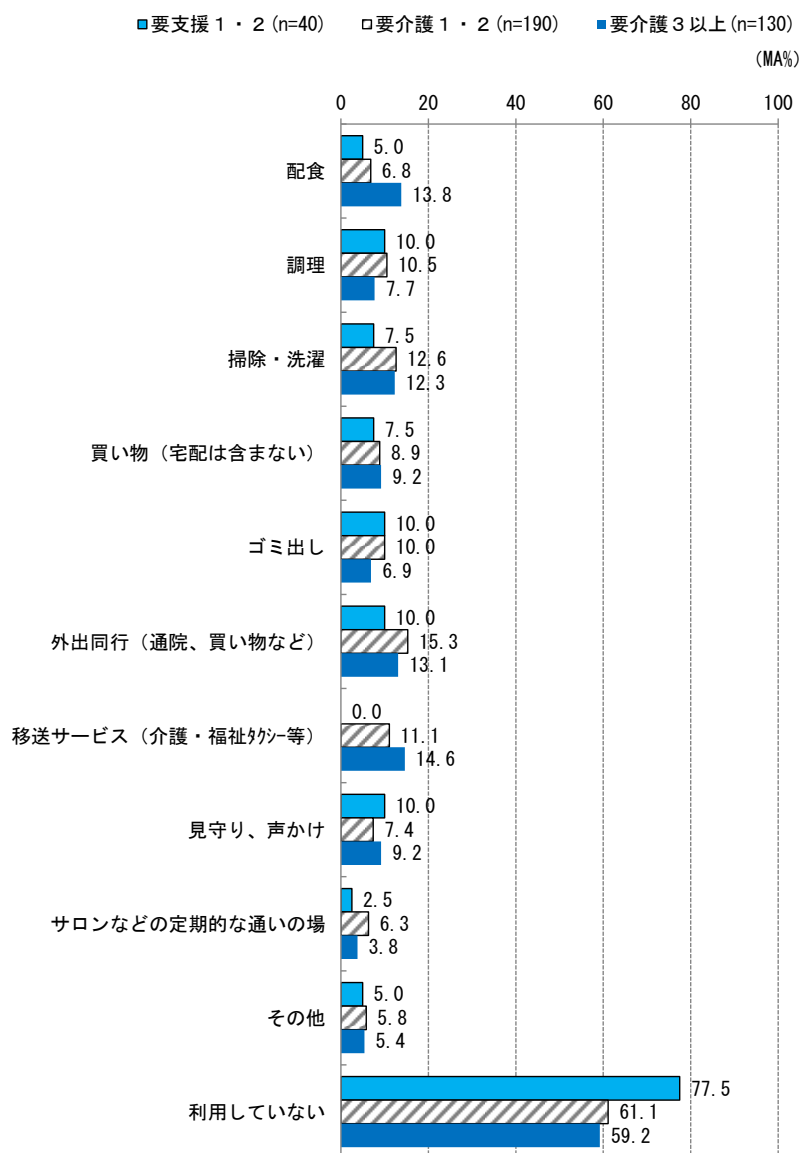
【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）】



【全体】

○ 「配食」では要介護3以上が13.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）】



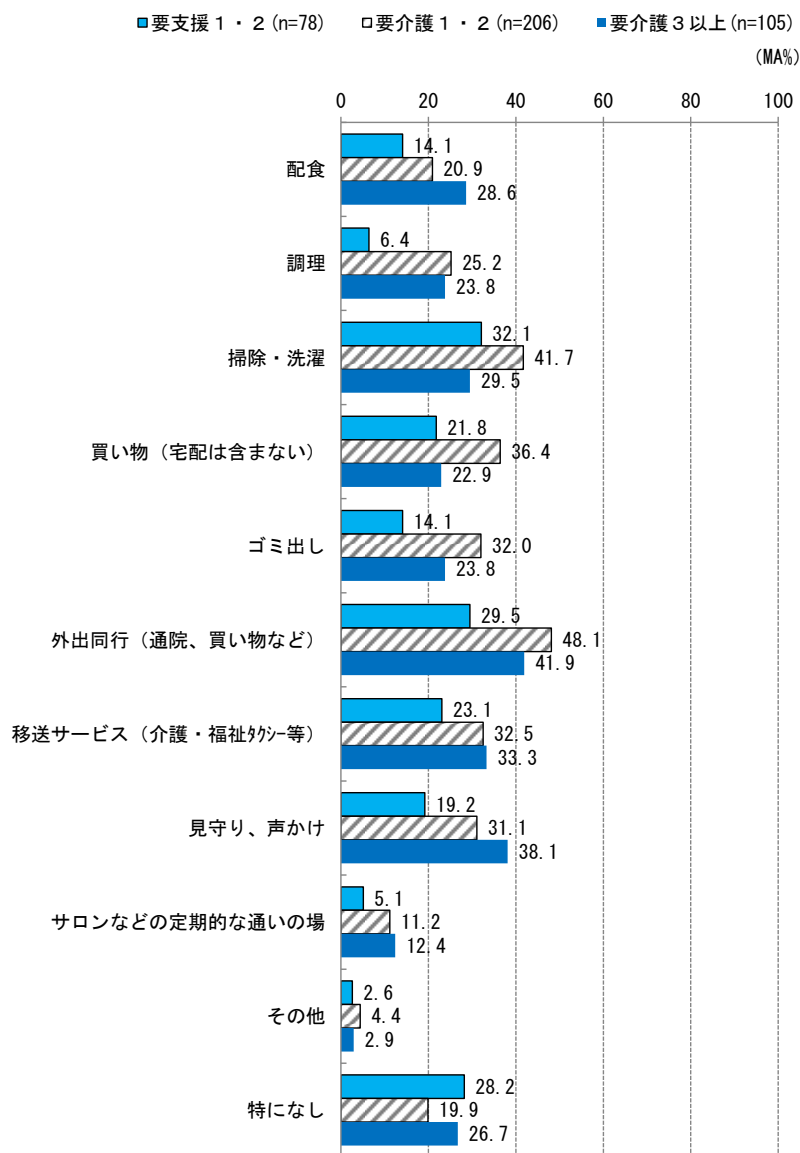
② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

● 要介護度

【全体】

○ 単身世帯をみると、要介護度が高くなるほど「配食」「見守り、声かけ」が多くなっています。

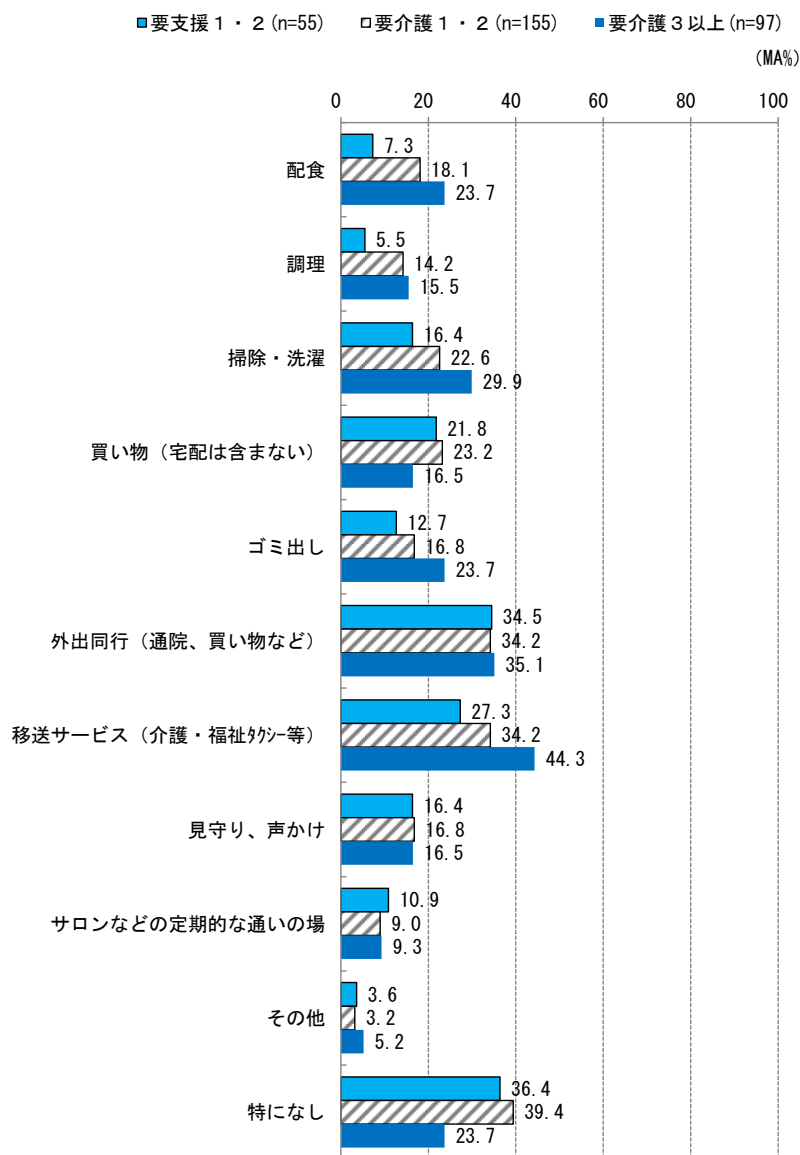
【要介護度別・保険外の支援・サービスの必要性（単身世帯）】



【全体】

- 単身世帯に比べて、要介護度が上がるほど、「必要」と考えられているサービスが多くなっています。

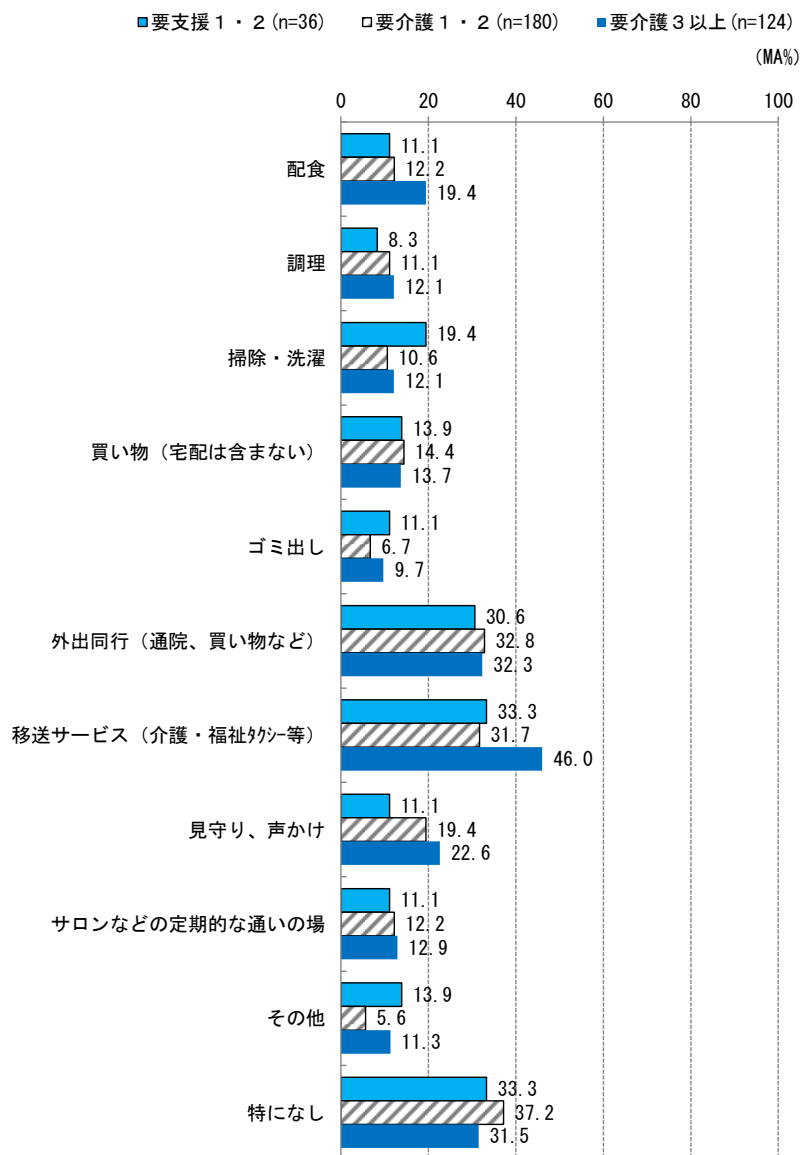
【要介護度別・保険外の支援・サービスの必要性（夫婦のみ世帯）】



【全体】

- 要介護3では、「配食」が19.4%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が46.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの必要性（その他世帯）】



③ 総括

①保険外の支援・サービスの利用意向と利用状況

在宅介護を続けるためには、制度により提供されるサービスと保険外の支援・サービスを組み合わせることが重要です。

世帯類型別に保険外の支援・サービスの利用状況をみると、単身世帯では他の世帯類型に比べてほぼすべての支援・サービスで利用率が高くなっており、特に、掃除・洗濯や外出同行、移送サービス等の割合が高くなっています。

要介護度別にみると、介護の必要性が高くなるにつれて、支援・サービス利用意向が高くなっているものが多く、特に、移送サービスの割合は利用意向が最もあると考えられる単身世帯では要介護 1・2 と要介護 3 以上で約 10 ポイントの差があります。

②在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

在宅生活を継続するために介護者が必要と感じている支援・サービスでは、「外出同行」「移送サービス」「掃除・洗濯」のニーズが高くなっています。

先述した利用されている支援・サービスと比べ、必要と感じている支援・サービスでは「外出同行」や「移送サービス」の割合が多くなっていることから、インフォーマルサービスとして介護者の負担軽減につながると考えられます。

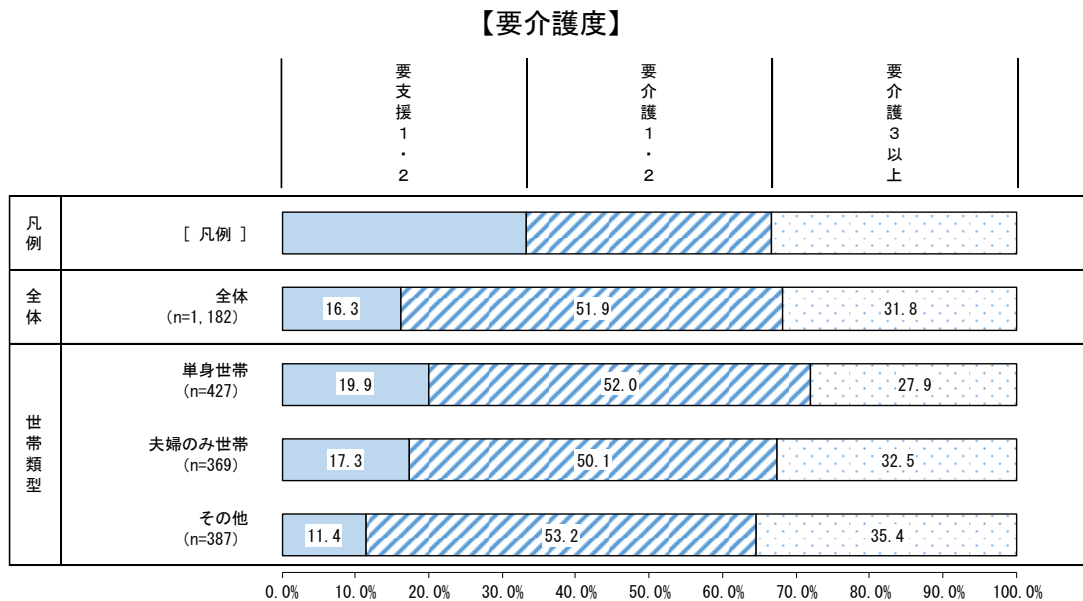
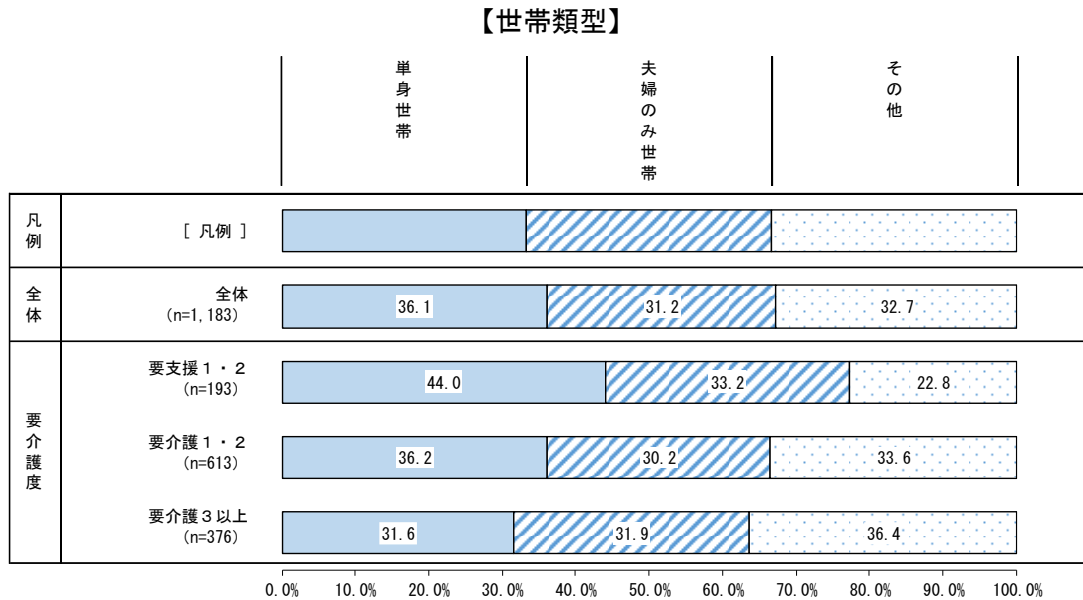
世帯類型別にみると、単身世帯や夫婦のみ世帯では、「外出同行」「移送サービス」「掃除・洗濯」のみならず、様々なサービスの利用意向が高いことから、主な介護者の加齢に伴う不安要因も大きく影響していると考えられます。

また単身世帯では、要介護 1・2 では他の認定区分に比べ、各種の支援・サービスのニーズが高い傾向がみられました。

(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

① 世帯類型と要介護度

【世帯類型】	
○	要介護度が上がるほど「単身世帯」が少なくなる傾向がみられます。
【要介護度】	
○	「要介護3以上」は、単身世帯では27.9%、夫婦のみ世帯では32.5%、その他世帯では35.4%となっています。



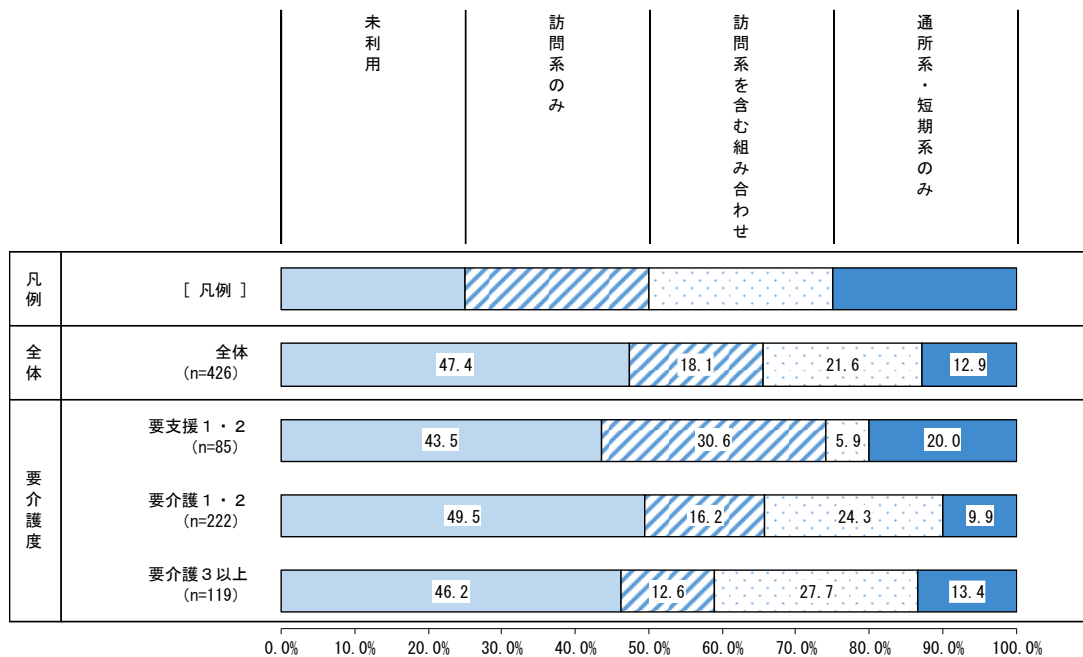
② 世帯類型ごとのサービス利用の組み合わせ

● 要介護度

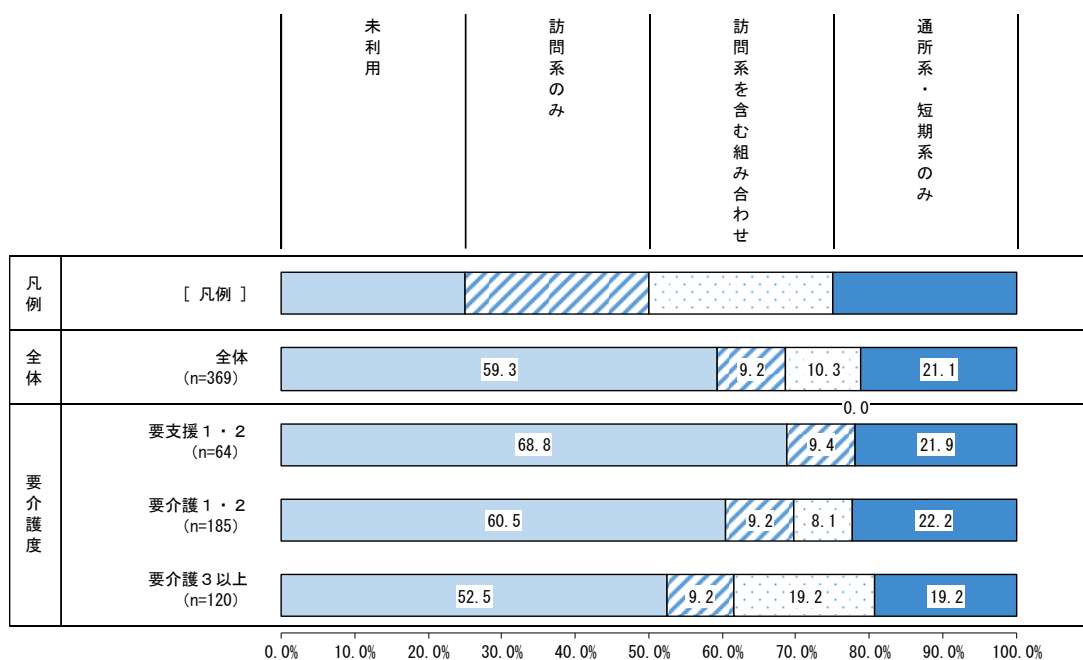
【要介護度（世帯類型別）】

- 単身世帯では要支援１・２で「通所系・短期系のみ」が 20.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 夫婦のみ世帯では要介護度が上がるほど「未利用」が少なくなっています。また、要介護３以上では「訪問系を含む組み合わせ」が 19.2%と多くなっています。
- その他世帯において、要支援１・２で「未利用」が 77.3%と他の区分に比べて多くなっています。

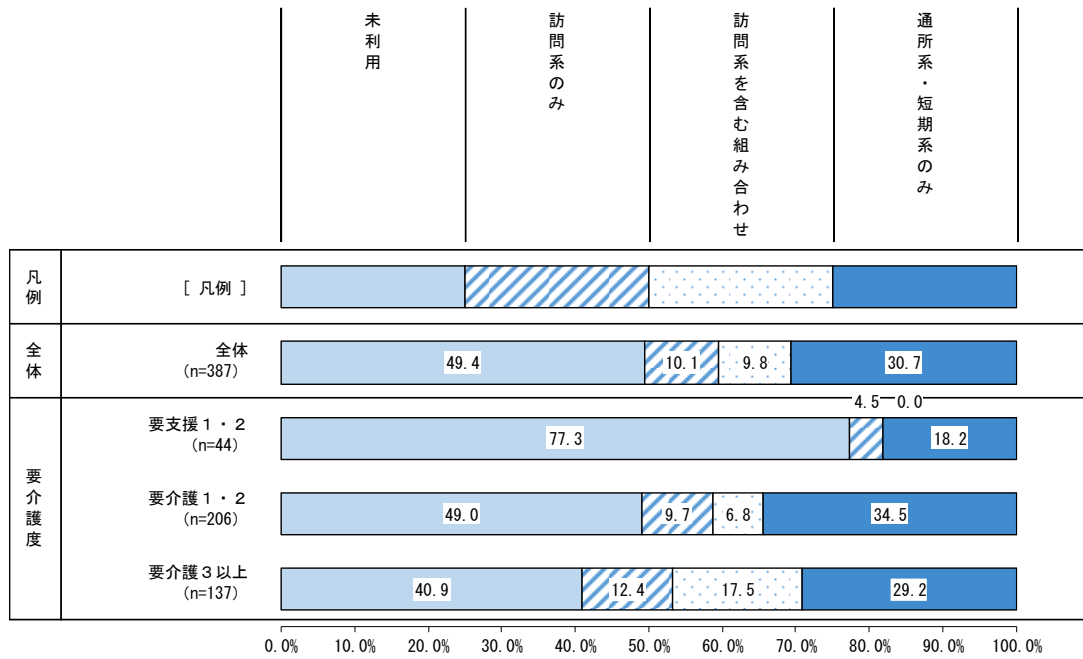
【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】



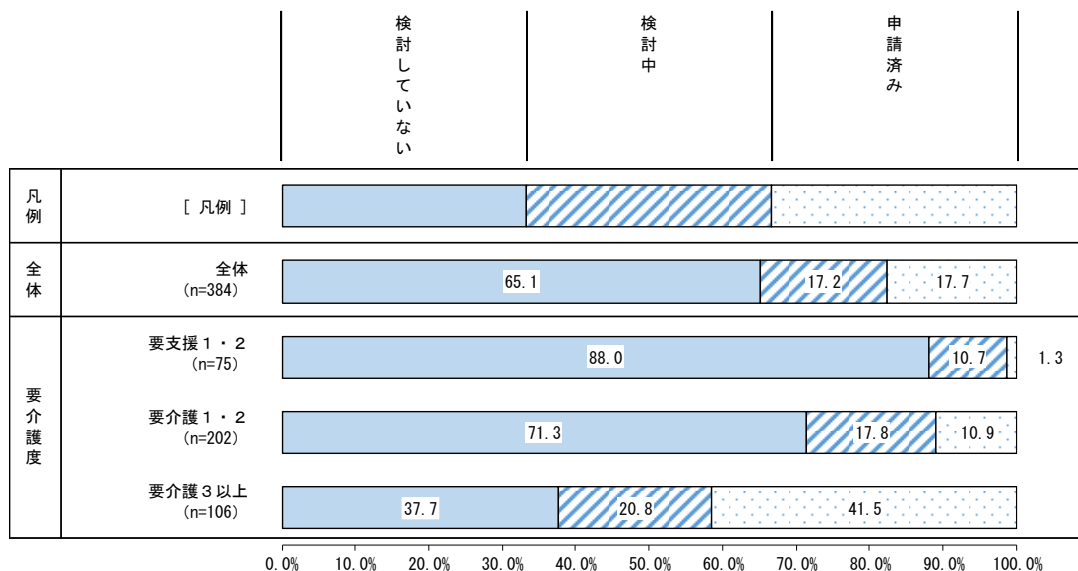
③ 世帯類型ごとの施設等への入所・入居の検討状況

●要介護度

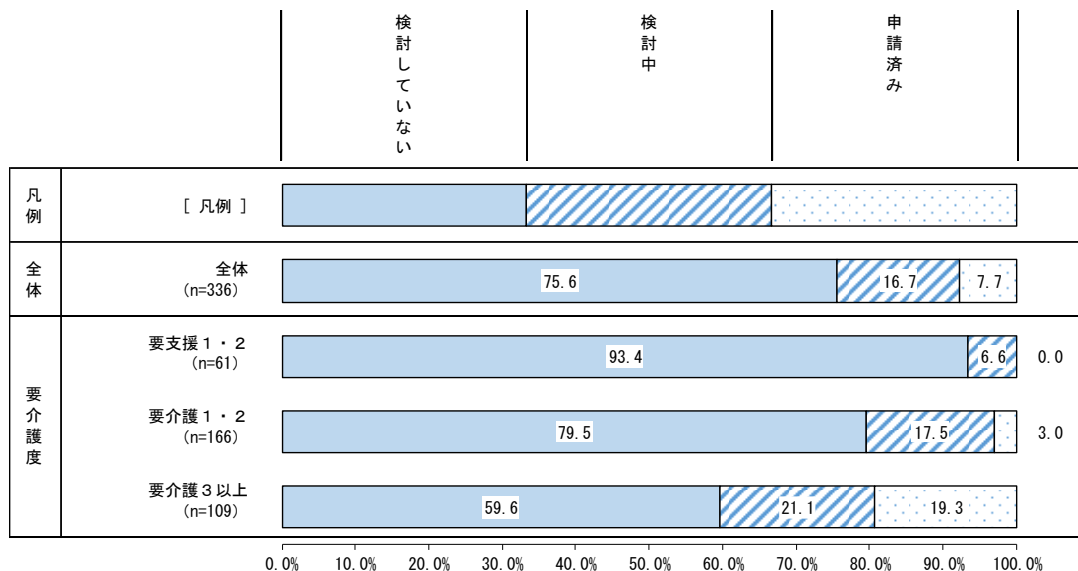
【要介護度（世帯類型別）】

- いずれの世帯においても、要介護度が上がるほど「検討中」と「申請済み」を合わせた“入所・入居意向あり”が多くなる傾向が見られます。
- 単身世帯では、半数以上が“入所・入居意向あり”となっています。

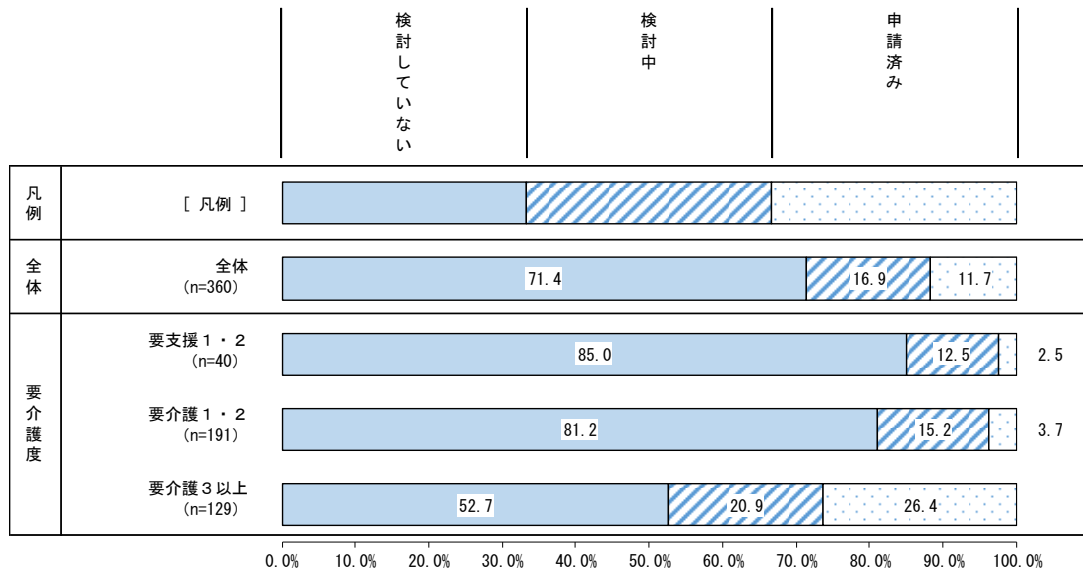
【要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）】



【要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】



【要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）】



④ 総括

①要介護度別・世帯類型

要介護度が上がるほど「単身世帯」が少なくなる傾向がみられます。これは単身世帯では、要介護度が上がると施設等へ入所・入居していると考えられます。

②介護度別サービス利用の組み合わせ

単身世帯では、訪問系サービス利用者の割合が高くなっています。

夫婦のみ世帯では、要支援１・２では未利用の割合が高く、介護度が上がるにつれて訪問を含む組み合わせが多くなっています。通所系・短期系のみは介護度は関係なく、いずれも２割程度を占めています。

このように、現在、在宅で生活している要介護者は、介護度の重度化に伴い「訪問系」及び「訪問系サービスを含む組み合わせ」を利用していくことで、在宅生活の継続を可能にしていると考えられます。また、いずれの世帯類型についても概ね同様の傾向がみられるといえます。

③施設等の検討の状況

施設等の検討の状況をみると、すべての世帯類型において介護度が上がるにつれて検討中または申請済みが増加し、「検討していない」が減少しています。特に、要介護３以上では単身世帯の４割以上、その他世帯の２割以上が申請済みとなっています。

(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

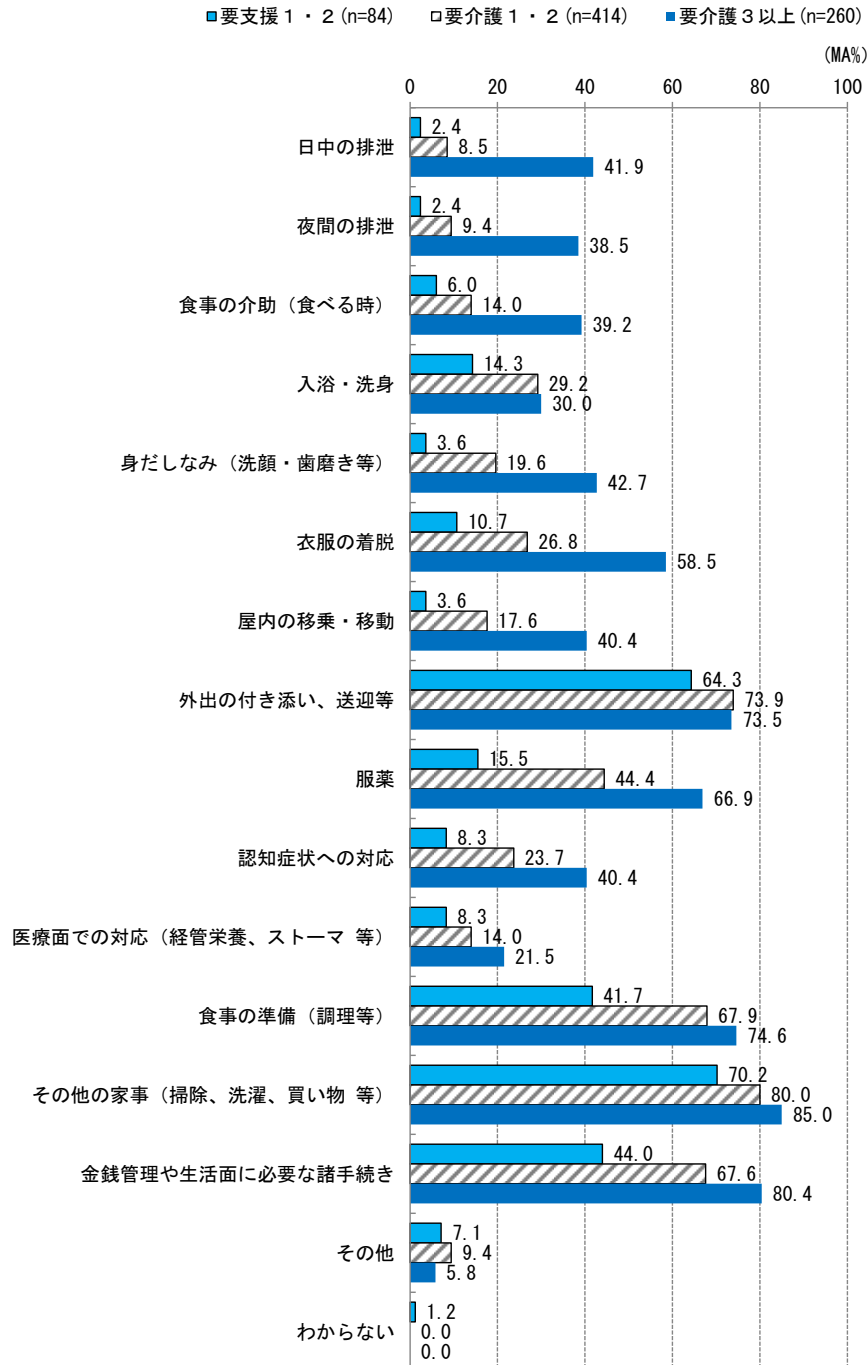
① 主な介護者が行っている介護（医療面での対応）

● 要介護度

【全体】

○ 「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」はいずれの要介護度においても、他の支援に比べて少ない傾向が見られますが、要介護3以上では21.5%となっています。

【要介護度別・主な介護者が行っている介護】

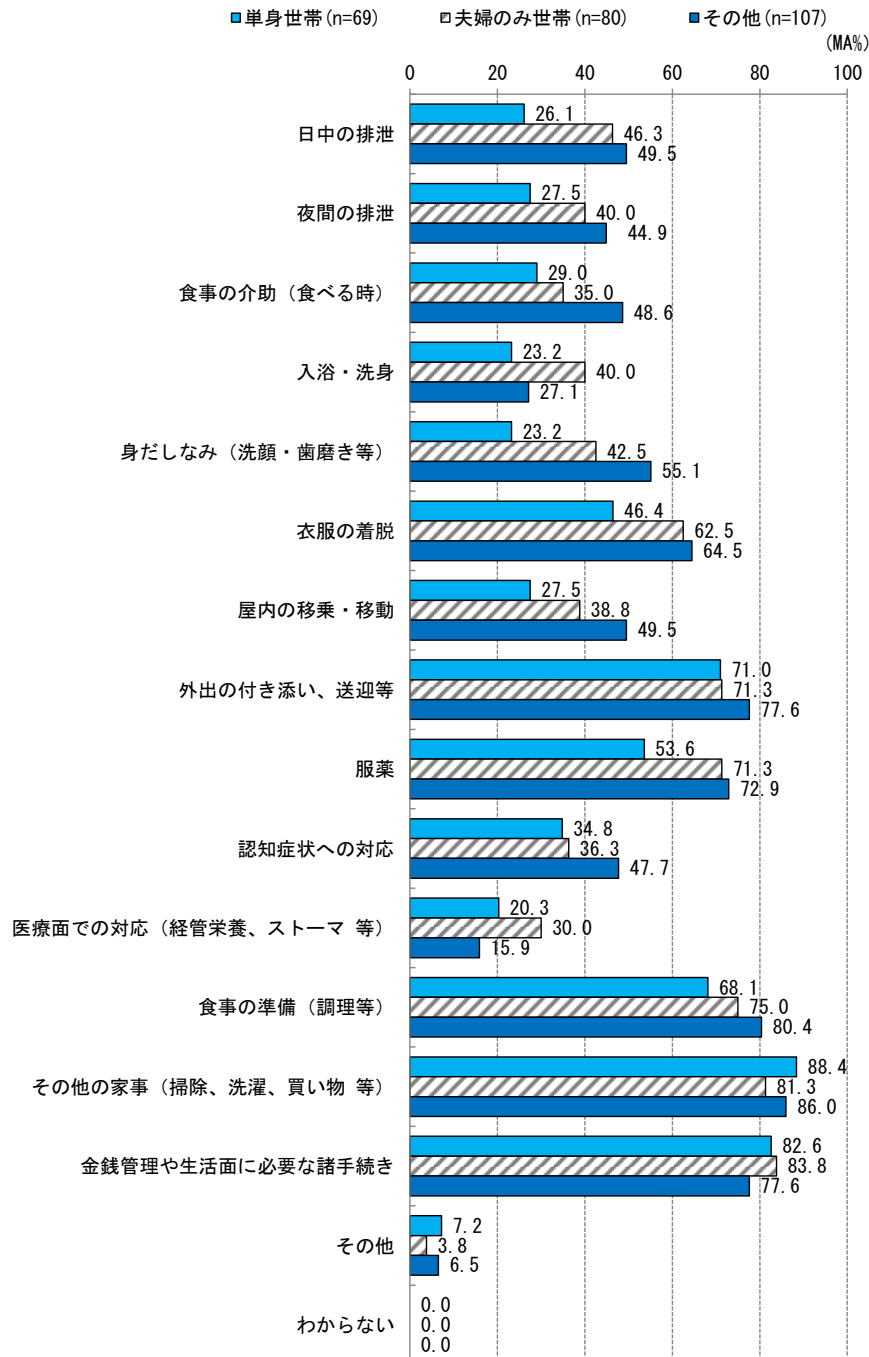


●世帯類型

【全体】

○ 「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」は、夫婦のみ世帯では30.0%と多くなっています。

【世帯類型別・主な介護者が行っている介護（要介護3以上）】

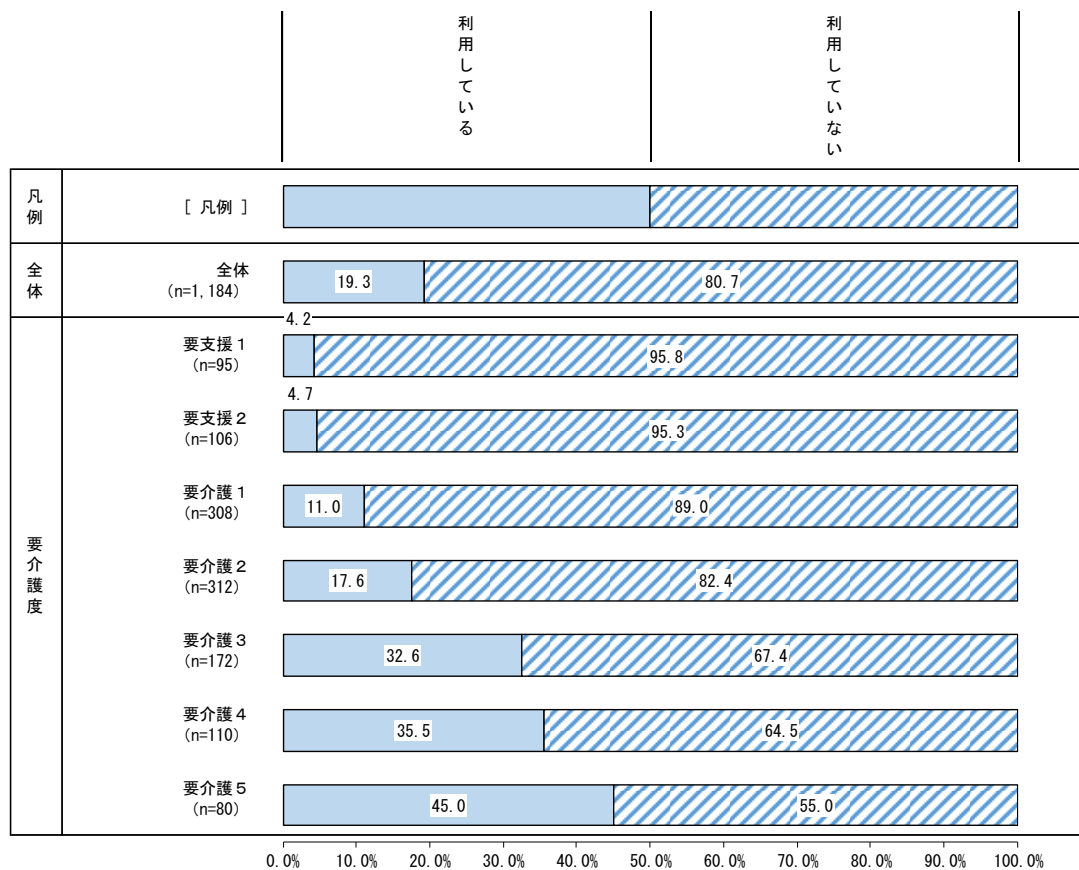


② 訪問診療の有無

● 要介護度

- 要介護度が上がるほど、利用している割合が多くなっています。
- 要介護5では半数近くが利用しています。

【要介護度別・訪問診療の利用割合】

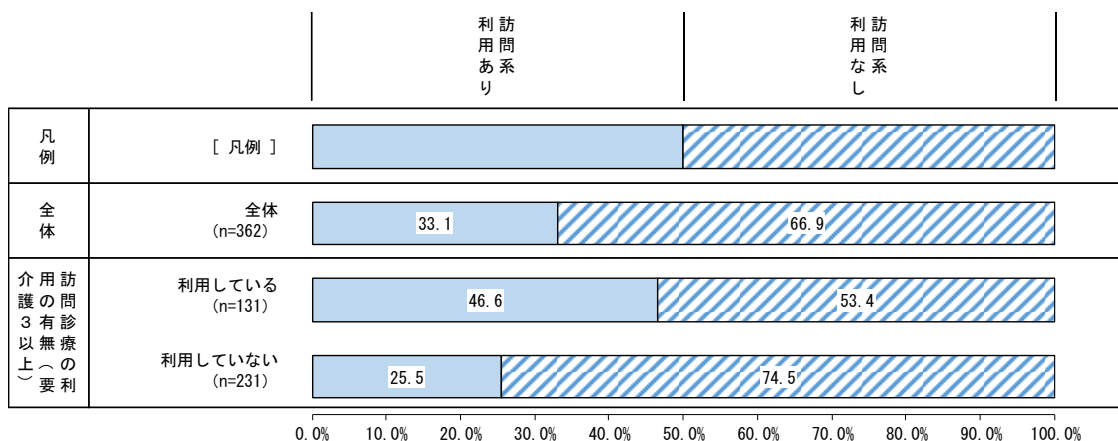


●介護保険サービスの利用有無

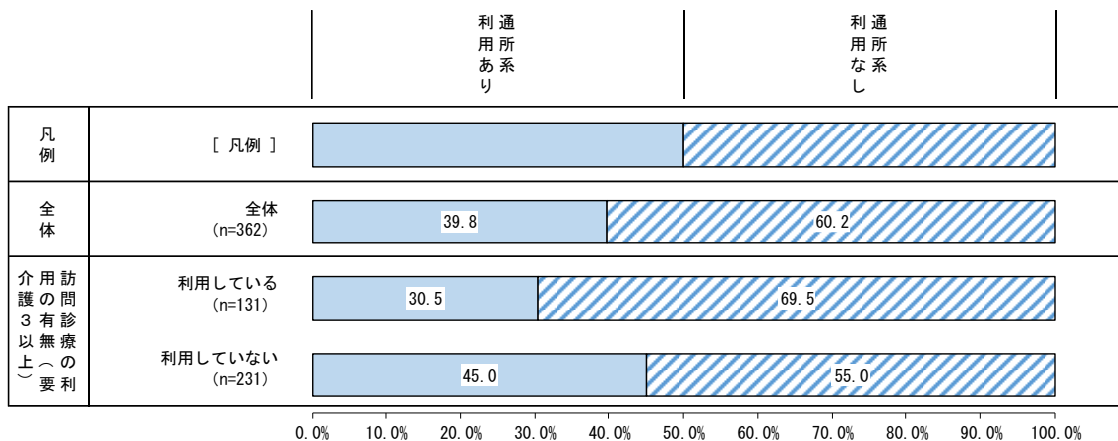
【訪問診療の利用有無・要介護3以上）】

- 要介護3以上において、訪問診療を利用している方では、訪問系サービスは約半数が利用しており、通所系サービスは30.5%、短期系サービスは5.3%となっています。
- 通所系サービスの利用割合は、訪問診療を利用している方に比べて、利用していない方が45.0%と多くなっています。

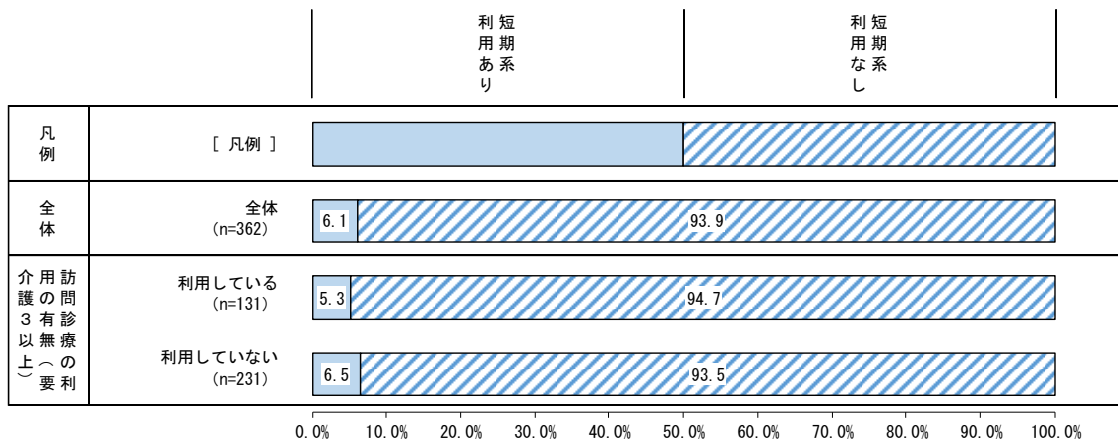
【訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）】



【訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）】



【訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）】



(6) その他

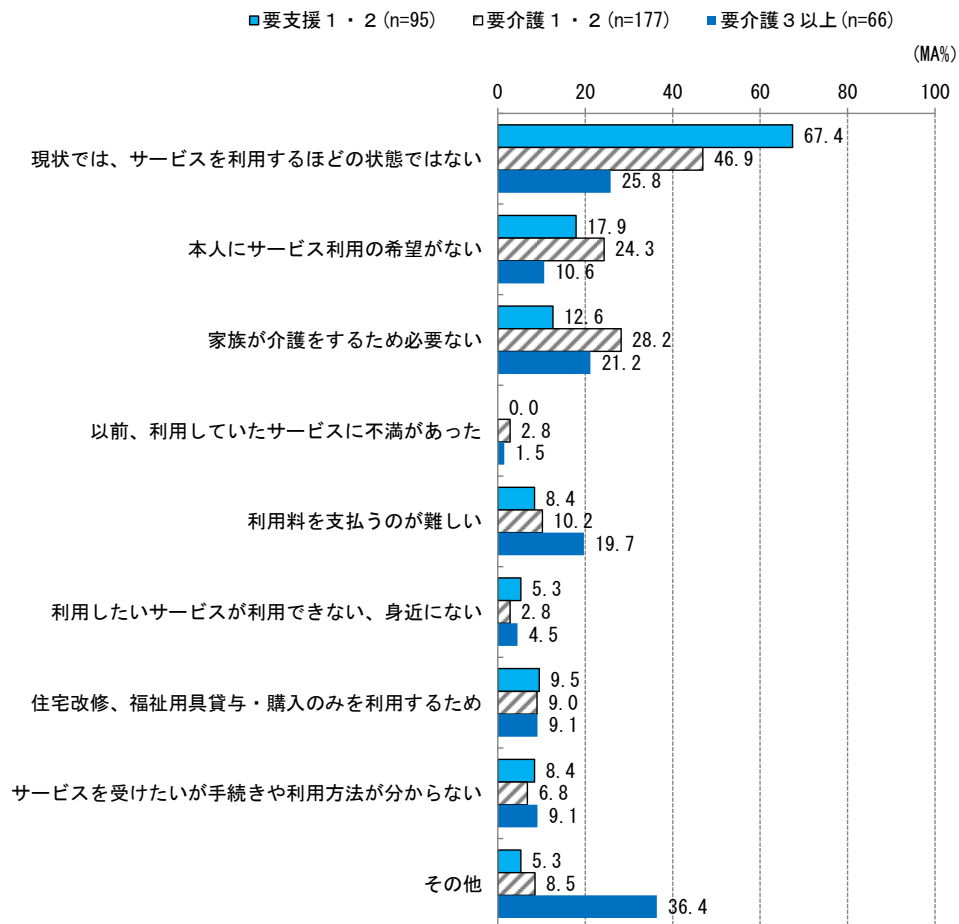
① サービス未利用理由

● 要介護度別

【全体】

- いずれの要介護度においても、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が多くなる傾向が見られます。
- 要介護3以上では「利用料を支払うのが難しい」が19.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【要介護度別のサービス未利用の理由】



② 主な介護者の年齢

● 本人の年齢

【全体】

- 本人の年齢別・主な介護者の年齢について、「50 歳代」が 28.2%で最も多く、次いで「60 歳代」が 26.2%、「80 歳以上」が 19.1%となっています。
- 65～69 歳においては、「60 歳代」が多いことから、主な介護者は配偶者であることが考えられます。
- 70 歳代以上では、70 歳代以上の“老々介護”も多くなっていますが、子による介護も多くなる傾向が見られます。

【本人の年齢別・主な介護者の年齢】

